京城日報
五日夕刊
定價　本紙一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾五錢　郵稅一ヶ月分金三十錢（前金）　一ヶ月分四錢
廣告料　五號活字十行以上一行金八拾錢（以上金壹圓）
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話番號　一四五番　二二四番　三六六番　二〇〇番　振替貯金口座京城三〇〇番

◎米國民一齊に萬歲

米獨國交斷絕の報傳はるや米全國は國旗を掲揚し國民一齊に大統領ウヰルソン氏の萬歲を絕叫せり（華盛頓電報）

◎獨艦五隻を捕獲す

獨逸補助巡洋艦クロン、プリンツ、ウヰルヘルム、プリンツアイテル、フリードリの五隻は米國海軍省の命に依り捕獲され乘組員は全部ボストンに監禁されたり（華盛頓電報）

◎獨汽船爆沈を謀る

紐育港にて獨逸汽船五隻爆沈を謀れり（紐育電報）

◎在留獨人不安

本邦在留の獨逸人は今回米獨間國交絕の爲め米國政府の保護經わたれば彼等は多大の不安に襲られつゝあり（東京電報）

◎我財界の影響

米獨國交斷絕の結果我財界には多少の影響を蒙るを免れざるも諸相場には大影響無かるべしと（東京電報）

◎政府と選擧民

來る四月二十日行はるべき總選擧に關し政府は近日一般選擧民に對し警告を發し違反者無からん事を努むべしと（東京電報）

◎陸氏下關到著

前駐日公使陸宗輿氏は五日朝下關に無事到著せり鐵道院は同氏優遇の爲め特に下關より特別列車を運轉することゝなれり（東京電報）

◎宮崎拓殖部長來鮮

北海道拓殖部長宮崎通之助氏は五日朝櫻丸にて釜山著同十時三十分發列車にて京城に向ふ（釜山特電）

◎小原長官釜山通過

農商工部長官小原新三郎氏は四日午後七時著列車にて來釜同八時三十分出港高麗丸にて東上の途に就けり（釜山特電）

◎通商稅則改訂

支那政府は昨秋頃通商各國に對する稅則改訂を北京外交團に提出したるも、來外交當面に緊急問題ある爲未だ正式交涉を開始せざりし處今や日支交渉は已に解決し支佛老西開案も近く解決の成算熟したるを以て愈々該稅則改訂を進行せしむ可く最近修正理由書を交涉關係各國に交附したり而して日本に關する!!支原約は

▲日本貨物を支那內地に輸入し一回の子口稅を納入する時若し該貨物が有稅品なる時はイ口稅の半額を納入す若し無稅品たる時は百分中二兩五錢を納入す此外內地一切の各稅を免除す

▲日本人が支那國內に於て支那貨物及び產物を購買して海外に輸出する時は輸出稅を納入するのみ非らざる限りは唯だ輸出正稅を納入するのみ以上の稅則に對し支那政府は其全部を修正して百分の五課稅に改訂せんと提議せるが如し（北京）

◎露支外蒙條約談判

目下露支兩國政府間に外蒙古交通に關する條約の協商進行中にて遠からず正式の發布を見るべきが其內容は

▲外蒙古の電線は庫倫自治政府の管轄に歸する事▲外蒙古の郵政は支那政府より管理する事▲外蒙古に於ける鐵道事業は露支蒙三方面より協商合辦し之れが資本を要する場合は露國に投資の優先權ある事等を規定する者なりと（北京）

◎總督官署巡視

長谷川總督は五日午後一時より釜屋高橋兩武官、齋藤、大島兩副官、神田秘書官等を隨へ高等法院及び臨時土地調查局に赴き執務其の他の狀況視察をなせり

◎郡守轉補

二月五日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府郡守（平北楚山）　尹錫弼
忠淸北道忠州郡在勤を命す
朝鮮總督府郡守（咸南利原）　李鍾殷
平安北道楚山郡在勤を命す

◎高地查會休會

五日は高等土地調查委員第一部會日なりしも長谷川總督土地調查視察の爲め休會となれり

◎小原長官渡支期

支那滿洲露領方面に於ける產業視察の爲め四日朝南大門驛發門司に向へる同氏は九日正午同港發汽船に搭乘上海に直航の事となれり

◎陸宗輿氏釜山通過

渡日の途に在る前駐日支那公使陸宗輿氏は從者一名を隨へ四日午後七時著列車にて釜山棧橋驛に下車直ちに關釜連絡船高麗丸に乘船したり同船にては特別室に案內優待を爲し同八時三十分出港東上したるが見送人は在釜山支那領事同領事館員一同同國人並に若松府尹橋本釜山署長町津憲兵分隊長其他官民諸氏なり（釜山）

◎支那監獄視察團

支那監獄視察團數名は三日奉天より入京四日は日曜日なりしも總督府特別の便宜を得て西大門及び麻浦の兩監獄を視察せり五日は永登浦分監訪問の豫定なりしが內地視察を急ぐ爲め之を中止し五日朝南大門驛發列車に搭乘退京したり

◎松永入澤兩氏巡視

松永京畿道長官は既報の如く五日の午前入澤第一部長大塚、山內兩書記と共に抱川郡に向ひたるが歸途楊州に立寄り即日歸京せり

◎金久保少將來田

第四十旅團長金久保少將は四日午後五時當驛著列車にて來田當地官民有志出迎多數ありて千歲旅館に一泊五日全州守備隊教育狀況視察し七日光州守備隊視察の上九日當大田に引返し當守備隊視察したる上十一日歸任の豫定なりと（大田）

◎隈部大佐管內巡視

京畿道警務部長隈部大佐は隨員を從へ四日朝出發管內巡視の途に上りたるが本月十五日夜歸任の筈なり巡視區域は楊州抱川永平漣川長湍及び坡州郡內一部等なりと

◎府協議員會

京城府協議員會は既報の如く五日午前十時より府廳樓上に於て開會出席者八名大正五年度の豫算更正及び追加豫算に附き協議を遂げたる結果原案の如く可決十一時散會せり

◎商議役員會

京城商業會議所にては既報の如く六日午後二時より役員會を開會し定款改正の件を附議すべしと

◎古城副官母堂

古城軍司令部副官母堂逝去に付副官は二日鹿兒島縣出水郡野田村古城に歸鄉せりと

◎國交斷絕果して眞か

戰爭の終局近かる可し

外事課長　久水三郎氏談

米獨國交の斷絕は貴紙に依つて始めて承知せり、本報道にして假令事實なりとするも米國は何時も土俵際まで持ち行き乍らイザとなつて煮え切らざるが例なれば今回もまた復た此の轍にはあらざるか、殊に米國には多數の獨逸人あり而かも彼等は銀行會社に異常の勢力を有するのみならず共和黨は多少帝國主義を加味するも民主黨は絕對の平和主義なれば此の報道も疑問の餘地あり、兎に角國交眞に斷絕せるか

▲米國愈々蹶起　するかは尙ほ今後二三の報道を俟つにあらざれば判斷すること不可能なり、されど獨逸飽く迄兇暴を逞くし米國眞に臍を堅めて蹶起せりとせば戰亂の終局を促進するに多大の効果ある可きは言を俟たざる所にて獨逸の蒙る損害は物質的よりも寧ろ精神的に於て殊に著しきを見る可し、從來米國商人より獨逸側に輸出せる軍需品は聯合國側の輸出量と

▲殆ど相伯仲　の觀ありしが開戰の結果は政府の取締によりて之れ等は全部禁壓され又た太平洋上に於ける獨逸海軍の跳梁は米國艦隊の警備に依りて跡を絕つに至る可き等其の打擊鮮少ならざるが中にも聯合諸國は獨逸を以て徹頭徹尾世界平和の攪亂者と做し粉碎徹塵再び起つ能はざらしむるにあらざれば到底膺懲の實を擧ぐる能はずと聲明し中立各國また之れを認めて疑はざりしも獨り米國のみは由來獨逸に對して多少の同情を有し屢々居中調停の勞をすら執らむとせしことあり、然るに兩國の國交斷絕して砲火の間に相見ゆるに至らば此の

▲同情は忽ち變　じて反感となる可く斯くては戰亂終局上に齎らす獨逸の惡果想像に餘りあり、要するに獨逸が米國を敵手取る如きことあらば同國は今や狂犬的態度となり世界列强を敵手として斃るゝならば所謂破滅せんとの決心にて自己の利害は度外視せるものならむが何れにせよ所謂滅燈の一閃にて獨逸は遠からず粉碎され英獨艦隊の衝突を最後の一幕に獨帝の引退となり、戰爭は茲に聯合國の大勝に歸して目出度く終局を告ぐるなる可し

▲實現までは

多少の餘地あらん

某外事通談

米獨國交斷絕問題に就き語つて曰はく此の電報は獨逸が中立國の船舶と雖も敵國の貨物を搭載せるものに對しては發見次第擊沈す可しと聲明せし結果なる可きが之れを以て直ちに米獨間の國交斷絕然せりと爲すは早計なり國交の斷絕は戰鬪行爲を意味するものにして米國與に蹶起せんとせば先づ議會の協贊を求めざる可からず然ると吾人は未だ此の事を耳にせざるのみならず之を既往の對獨態度に徵するも、米國殊に平和主義を標榜せるウヰルソン大統領が只だ此の一事を以て直ちに戰鬪行爲を執るが如きは萬あらざる可く假令米國にして開戰の意ありとするもそれまでには彼我の間に尙ほ一二の交涉なかるべからず、少くとも米國は國交の斷絕を宣言するに先き立ちエンバーゴー即ち獨逸捕留船の押收等を以て獨逸に對し威嚇的回答を試むべく獨逸之れに應ぜざるに於ては或は戰爭行爲は開始さるべきも其の以前に在りては如何なる電報あるも未だ信を措くに足らずと思惟す要するに獨逸今回の聲明に依り兩國國交の斷絕は避く可からずとするも之れが實現を見るまでには尙ほ彼我交涉の餘地あるは疑ふ可からざる事實なり

◎米獨開戰を豫想して

軍事的の大活動はあるまい

開戰の不利は米國にあり

陸軍某參謀將校談

米獨國交斷絕の報を齎らして陸軍某參謀將校を訪ひ其の所見を叩く、米獨關係の危機と云ふ事は大戰勃發以來幾回となく繰返されいつも事なく經過したのである、今回の米獨國交斷絕も未だ何等公式の通知に接しないのみならず、實は其の眞僞を疑つてゐる次第じや、然し刻下の情勢より見て今日其の事の起るは無理のない理由もあるやうだ

▲旗鼓の間に　今回米獨外交關係を斷絕するに至らしめた近因は獨逸の對米潜航艇商船襲擊通告にあるは勿論であるが、亞米利加より見れば最近講和提議などで若干獨逸の弱味が現はれたからそこに附け込み半ば威嚇的に獨逸の暴擧を中止させやうとした抗議が段々大きくなり遂に大事を惹起するに至らしめたのではないか、今假りに米獨互に旗鼓の間に相見ゆるとすると其の結果は如何に見るか、總體的に觀察すれば恐らく米國が兵力を以て獨逸に進攻する事は出來まい、獨逸より云ふも亦同じである、重大な影響は經濟戰爭にあると思ふが、然も其の不利は亞米利加が蒙むるであらう以下簡單に其の理由を述べて見やう

▲米國の陸軍　米國の常備軍は擴張後と雖も其の兵力僅々十二萬に過ぎないイザ鎌倉となり直ちに第一線に送らるゝ軍隊は前述の備兵十二萬である右の外各州に分駐する護鄕兵六十餘萬を算するがこれは名詮自稱乃ち護鄕の爲めの兵で殆んど萬一の場合戰場に出づべく訓練されたのでない其の能力も缺如し又堂々出陣の途に出づる事は出來まい、以上の陸兵を以て兵馬精勁を以て中外に誇る獨軍に比する事は實に倫を失してゐるのである加ふるに米大陸より陸兵を歐洲戰場に送る事は米獨開戰の場合非常に危險で殆ど不可能と云つてよい、又獨逸から其の陸軍を米國に遠征さす事も獨逸の兵力分割の爲め出來惡い事や、海上危險等の爲め無論望まれない、結局米獨互に宣戰しても其の陸戰を見る事はあるまい、萬一米兵の幾部分を歐大陸に送り之れを東方若くば西方の戰場に分遣した處で、露軍並に英佛軍に何程の强味を加ふるかは疑はしい

▲米獨海戰如何　然らば海軍は如何であるか、米國の海軍力は大艦巨砲に於て其の統計數字は立派であらう、然し件の備兵を以て其の戰鬪力に幾何の强味があるか、米國海軍の主力はイザ開戰となれば大西洋を橫斷し獨逸攻擊の擧に出るかも知れず又獨米艦隊衝突の絕無を保しないが、到底武力に於いて世界に覇を唱ゆる獨逸の敵でなからう、或は米國軍艦の若干を英國艦隊に加ふる位で其の主力の獨逸攻擊は見られないかも知れぬ

▲大西洋通商杜絕　軍事的に見て米獨關係の斷絕は左して驚目に値しない、但し經濟戰爭に於て至大の影響があらう、但併其の打擊を米獨兩國の何れが多く受けるかと云ふに夫れは遺憾ながら米國と指さゞるを得ない、何となれば近年米國財界の隆盛は聯合國に諸種物資の供給をなすからである、然るに米獨開戰となり獨逸の潜航艇が何の遠慮もなく米國汽船擊沈を續行する事とならば歐米間の大西洋通商は殆んど杜絕に歸するであらう、獨逸はそこを見込んでゐるのではないか、而して彼れは依然として自給自足主義を執る以上其の感ずる痛痒は自然輕からう、左樣其他の中立小國も米國の如き名分により强硬な對獨態度をとるに至るかも知れぬと思ふが、然しそれは多く大勢を動かすに足るまい、

▲結局疲れ分け　若干獨逸を稱揚し過ぎ米國を多く貶した感もあるが、一體米國人は愛國心に强いのであるから存外開戰となれば吾輩の豫想を裏切り何れかの方面に目覺しい働らきを見するかも知れない然し要之武力を以て獨逸を叩き潰すことは先づ絕望であらう、大戰の終局は兩軍の疲れ分けと云ふ落ちを見るに相違はない、唯獨逸が今回又も米國を敵に廻すと云ふ事は愈々世界總列强對手の戰爭と云ふ事實を來し列國の同情を失ふ點に於て不利である

◎仁川

▲船渠會社發起人會　仁川船渠會社にては六日午後七時より仁川ホテルに於て發起人會を開催し株式募集方法其他に就き協議する由

▲商船支店長後任　今回臺灣打狗出張所長に轉任したる大阪商船仁川支店長武田近次郎氏の後任者として神戶支店次席諏訪禮次郎氏支店長心得として近く著任する事に決定せりと

▲杻峴驛營業況　一月中杻峴驛營業況を聞に乘降客二萬百二名にて昨年同期に比し三百九十九名增、發著小荷物二萬四千二百四十四斤にして二千二百十八斤減、發著貨物五百二十五噸にして九十五噸減なりと

▲發展史編纂費補助　仁川經濟會に於て仁川發展史編纂中なる事は既報の如くなるが仁川府廳にては同會の請願に依り同編纂費として四百圓補助なす由因に編纂に要する收支豫算は收入千八百圓中經濟會より出資額四百圓發展史三百部賣却代金六百圓仁川府廳及び商業會議所其他より補助金八百圓支出額は編纂費五百圓五百部印刷製本見積千圓其他合計千八百圓なり

◎咸興

▲明太不漁の影響　本道咸南沿岸に於ける明太漁は近年稀有の不漁なりし爲め同漁業に從事したる細民の困憊言ふべからず茲に三月頃迄は辛じて經過し得べきも毎年手繰網に依りて小使を充たす夏季五六月の閑漁期に至らば其の疲弊頂に達するは明かなるを以て之れが應救策に就き目下當局者間に於て攻究中なりと

▲咸電と株主總會　既に第一回の株金拂込を完了したる咸興電氣株式會社は來る十四日咸興旭館に於て第一回株主總會を開催す可しと

◎元山

▲郵便所移轉請願　元山府元山里郵便所は其の位置所管區域中の北端に偏し通信上公衆の不便一方ならざるものありて元山里方面なる有力者間に於ては之れが移轉に就き久しき以前より請願をなすこと再三なりしと雖も更に何等の反響を認むるに至らざりき然るに最近に至り商業會議所議員石和、則本、川口氏等發案の下に同郵便所移轉問題を商業會議所議員會に上議の末其の筋に對する請願の件を可決したるを以て會議所は直ちに之れが手續をなすべしと

▲元山鮮人戶口　最近元山に於ける鮮人の戶口數を見るに三千三百五十六戶男七千四百十三人女七千一百十八人計一萬四千五百三十一人にして之れを前年同期に比すれば九十二戶四百七十六人の增加を示し居れり

▲北鮮鑛業會創立　元山石原松太郞、藤井大吉、宮原竹一、相原孫一郞氏等の發起に依り北鮮地方に於ける鑛業の研究發展に貢せん爲め會員四十餘名を募り北鮮鑛業會を組織し五日午後六時より元山東洋軒に於て第一回總會を催したる上將來に對する會の方針等に就き熟議するところありたり

◎大田

▲寒稽古閉會　大田教育會にては既報したる如く四日午前十一時より武德館にて寒稽古納會を閉會せしが金郡守羽生判事橋本署長島山憲兵分隊長內藤管理者其他二十餘名の來賓あり本會開催中十六日間兒童出席數及び皆勤者は柔道四十三名內皆勤者十九名劍道四十二名內皆勤者十八名なる好成績を表したり右三十七名に對し皆勤證授與あり又劍道磯部、井上、副島、田中、柔道木島、武藤師範諸氏に久門教育會長より感謝狀贈呈をなせり其より數十番の劍道柔道及び當地憲兵分隊石川、西川上等兵の早繩應用の型等ありて終りに吉例のシルコを來賓生徒一般に供應なし盛會を以て午後五時閉會せり

▲大田醫士會　大田醫士會にては三日午後七時より荒川樓に於て開會役員改選後酒宴を張り盛會にて散會せりと因に役員改選の結果會長井手理事谷口兩氏當選せり

◎群山

▲燃料缺乏　群山地方に移入せらるゝ石炭は槪して撫順炭なるに撫順炭坑爆破以來移入頓に減退し加ふるに一月中は近年稀れなる寒氣と降雪の爲め薪炭の製造搬出意の如くならず折から舊正月に際したれば群山の最近は燃料益々缺乏し價格は驚くべき暴騰を來し居れり

▲客年檢米　群山米穀檢查所取扱に係る大正五年一月以降十二月に至る一箇年間の米穀檢查總數量を聞くに優等米六萬七千零九十六叺上格米二萬九千四百二十一叺下格米四十五萬二千零四十七叺禁止米二萬零六百七十叺總計五十六萬八千二百三十四叺なりしと

◎釜山

▲水產總會第三日　朝鮮水產組合總代會第三日は三日午後零時より開會第十二號議案組合監事改選の件は投票の結果朴泳吉桐岡金三郞兩氏當選重任に決し第十三號議案支部事務所位置變更の件は後廻しと爲し第十四號議案官有建物讓與の件は原案に可決確定す追加決議案第一號製氷所冷藏庫並に浴場建物讓受請願方決議の件は從來水產組合が其筋の委托を受け經營し居れる製氷所冷藏庫を無償にて讓受け現在の六噸機二基を擴張して卅噸乃至六七噸の製氷機を据付け當業者の發達に貢せんとするものなるが一同異議なく可決第二號既提出の建議案の實行を要望する件は一、朝鮮鐵道列車中に冷藏貨車設備に付請願の件二、移住漁業者に對し建設の件四、取締規則改正建議の件三、漁業取締規則改正建議の件（一定漁業…）六、[illegible]件に就き[illegible]たしとの要望に對し大原組合長より[illegible]開する所あり同日より生田水產課長の臨席せらるべきに付其內容を開きとし閉會せり尙引續き豫算案及決算案の件を開催する筈也

▲鐵道ホテル改造　釜山鐵道ホテルにては近時鐵道便に操る外人の往復頻繁なりし爲め自然投宿休憩客の增加したると又た日本人も日本式旅館にては茶代心附等の心配を要するもホテルに投宿食事を喫せば斯かる雜費を要せざるのみならず經濟上及び體面上大に利する所ありとて追々日本客も增加し來り爲め食堂は狹隘を告げ客室は不足を訴ふるより近日大改造を爲す筈なりと

▲警察官の寒稽古　釜山警察署の擊劍寒稽古は入寒の當日より大廳町同署道場に於て每日開會しゐたるが愈よ三日立春の日を以て納會となしたるが技術の點は勿論健康上に於て著しく良好の結果を顯はせりと

人事消息

▲勿論新吾氏（八幡製鐵所技師）四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲葛原鎭藏氏（殖產銀行員）五日朝入京朝鮮ホテルへ
▲谷井濟一氏（朝鮮古蹟調查委員）四日已城館より旭町一丁目の自宅に移る
▲鄔啓昌氏（釜山支那副領事）四日午前內地より歸任

内地から朝鮮へ、滿洲へ、支那へ、歐羅巴へ！歐羅巴から、支那から、滿洲から、朝鮮から、内地へ！何方から何方へ行くにしても下關から釜山、釜山から下關、朝鮮海峽百二十七哩の波の上に十時間は過されねばならぬ、あの連絡船の船室に立ち迷ふスチームとペンキの匂を大陸と本土とを繋ぐ新日本の大動脈の匂と嗅いで釜山の埠頭に下り立つた程の人は此の大動脈の搏動の永へに健げに活潑にして安全ならんことを希ふたであらふ。さるにても、霧、風、雪、浪、冬將軍の暴るゝまゝに此頃頻々と續出したる連絡船の故障は我等をして此大動脈に就いて暫らく考へせしむるものではあるまいか

▽連絡船の理想的航路

釜山港内の歪潮と現在の第一棧橋 理想的繋船地點としての釜山鎭 連絡時間の短縮と航行の容易

連絡船新羅丸船長 松原善之助氏談

而して釜山港の設備に就き連絡船長としての意見は先づ連絡船の繋留場として第一棧橋の如きは甚しい不適當の點があると思ふ連絡船は確實に時間に因りて出入する

◇任務を有する 特種汽船であるから普通航海船と同一の見地から律すべからざるは云ふ迄もないことであるのに釜山棧橋の如きは第一位置に於て最も不適當を感ぜしめる現在第一棧橋の架設せられてある場所は釜山港に出入する汽船及び帆船の通路に突出し且つ附近に數多の船舶が碇泊して居る爲め出入毎に通路を狹隘ならしめ

◇操縱に困難を 感ぜしむること少くない加ふるに釜山港内の潮流は航海業者の最も嫌厭する歪潮の激しい場所で殊に其潮流も一定せず船の操縱に極めて困難を感じて居るのに加へて第一棧橋附近に在りては同棧橋の突堤に因りて潮流を激亂せしめ一層操縱困難ならしむるのみならず棧橋の前後に又た附近に碇泊船ありて繋船の際に於ける苦心は實に容易のことでない故に

◇餘儀なく回船 繋留して出港の際に於ける故障を豫防するの策を執らざる可からざる狀態にある斯かる事情あるを以て連絡船の繋留地點としては望むらくは釜山鎭を以て最も適當なりとする然して内地發著港としては前に述べたる六連島の對岸なる即ち下の關背面の地點より一直線を畫し釜山鎭の海岸に達せしむるを以て最も安全にして快捷なる航路と爲すを得べくかくして又た

◇兩地間の連絡 時間を短縮せしむること頗ぶる大なるものある而已ならず從來の缺航遲著の原因は全く除去せしむるを得るであらう斯くてこそ連絡船としての任務を的確に行ひ得るものと爲すを得べく然して繋船棧橋の構造に就きても第一第二棧橋の如き濫りに狹長なる構造を要せず主として實用に適應すべき短かき棧橋を數個所に建造し出入

◇繋船に際して 前後附近に意を勞することをなからしむるのが一番宜しい普通商船にありては少許の時間は別に慮る所なきも連絡船の如き時間の猶豫を許されざる任務に就けるものに對して宜しく此等の事情を參酌して設備せられんことを望みたい

◉元山大隊出發 既報の如く歩兵第七十四聯隊は今回寒中强行軍を行ふに就き元山大隊は（初年兵を除く）佐竹大隊長指揮の下に五日午前九時出發演習地に向へり（元山）

◇貯水池の減水を見る

京城全市の夜間斷水を見た四日夜八時記者は水道技師に案内されて水道貯水池の狀況を視察した。纛島の水源地の貯水池は平素は十九尺宛の水深を保つていかに減水をしても七八尺より降つた事のないのであるが、見ればそれが僅かに二尺ぐらゐに成つて終つてゐる市中に給水する配水管の如きは水上に半水以上も露出して居る有樣、且つ此の螺旋式の貯水池は何年振りかに水中の隔壁を露出して物凄い光景である。寫眞は露出したる貯水池の隔壁の一部と噴入する水の一部である

◉舞臺は廻轉した 米國は愈本腰になるか

米獨の國交が斷絶して戰爭は愈よ世界の大戰亂となつた、併し米國が愈よ開戰の宣告を爲すには確かに

◆議會の協贊 を經なければならぬと思ふ、それに米國々内に於ける獨逸種の勢力もなかなか侮るべからざるものあればいよいよ本腰になつてやるかどうか的にならぬ、若しまた米國が斷乎として宣戰を布告するも其の陸軍が歐洲大陸に向ふことか其の大艦隊が

◆北海方面に 出動するが如きとはあるまい──尤も我輩の想像に過ぎぬが──米の海軍は唯だ自國の沿岸を警戒するに止まりはせんかと思ふ、尤も這回の國交斷絶は一昨年夏の商船ルシタニヤ號が擊沈されて以來絶えず米獨の間にやかましかつた獨潜航艇の問題で米國の方でも愈よ腹をすゑ兼ねたものと見ゆるし獨逸の方でも

◆毒喰はゞ皿 までの態度で飽くまで海上を暴れ廻るであらう、這回獨逸が米國を敵としたとは獨逸にとりても尠なからぬ打擊であるが事玆に至るまでには獨逸も餘程決心したものと見ゆる、何となれば最近英國が機械水雷を以て北海沿岸を嚴重に封鎖したとは丁抹、和蘭等の中立國を經由して獨逸に入る物資の糧道を斷つ所以となるから獨逸にとつては

◆最早米を敵 とするも中立で文句を言はるゝも敢て意に介せぬところであらう、殊に斯うなれば天下晴れてお得意の潜航艇攻擊を試みられる譯だから何處でも勝手に暴れ廻るだらうよ、實際目下の獨逸潜航艇は何隻居るか聯合國側の當事者も見當がつくまい、全く英國にとつては

◆大變な打擊 と思ふ、併し潜航艇の活動位ゐは聯合國側の貿易を阻害する位ゐで大局には些も影響はあるまい（某提督談）

◇御眞影拜戴◇

▣咸興 咸南道廳及び咸興公立尋常高等小學校に下賜せられたる皇后陛下御眞影は二日元山到著に就き咸南道長官代理として菱田一部長は河合書記を從へ元山に到り直ちに御眞影を奉戴し三日午後四時安平丸にて元山出帆同夜西湖津に上陸し一泊の後翌四日咸興に歸廳して傳達式を行へり

▣群山 群山府廳及び群山公立尋常高等小學校に對し今回御下賜相成たる皇后陛下の御眞影は來る六日著御の豫定なりと

カルヽス温泉燒く──五日午後二時撮影──

◉カルルス温泉の晝火事 浴客狼狽して戸外に飛出す

五日午後一時十五分頃京城本町四丁目百五十四番地湯屋カルルス温泉事淺野太三郎方二階より發火したるより急報に接したる常備消防隊南大門詰所か大樂巡査部長引率の下に水管自動車眞先に駆付けて消防に著手し其他各常備消防詰所義勇消防組等全部出動小熊消防主任警部指揮の下に

▲目醒しき活動 をなし一方本町警察署より宮舘署長以下多數の警官出張し其他鍾路署警務總監部警務部京城分隊の官憲何れも警戒其他に努めたるが白晝なりしと無風の爲一般の活動に好都合なりし爲め發火したる棟に隣接して建てある夜明床事同部文彌居住の一棟（内部二戸居住一三室屋）を燒失したるのみにて幸に延燒なく同一時四十分頃鎭火せり同家は櫻井町、本町三四丁目大和町等に通ずる十字路交叉點のこととて一時は頗る混雜し殊に白晝のこととて見物の彌次馬人垣を築きたり發火の原因に就ては尚本町署にて取調中なるが二階据付けの暖爐より失火したるものゝ如く發火の現場を

▲主人が發見し たる際は二階一面の猛火と化し居りて手の附け樣なく二階には幼兒一名を寢かしありたる由にて妻女は其の救護の爲め入浴中の客と倶に出火の際入湯中なりし浴客數名ありたる由にて發火と聽き何れも眞裸體の儘走り出でるなどの大騷ぎを演じたるが人畜には別狀なかりしも火元にては家財全部を燒失したるを以て損害額意外に多大なるべく外に高價なる什器品多數ありたる由なるが燒失したる建物は全部カルルス温泉の所有にして四千圓以上の保險を附しありと損害詳細取調中

◉水道の夜間斷水に對し消防の應急設備

水道の斷水は消防の大苦痛であるが我々は職として最善の方法を講ぜねばならぬそこで昨夜より左の方法を施こして居る

◆喞筒隊 蒸汽喞筒發動機喞筒は平素より準備があるが之れは豐富なる水利に依らなければ使用が出來ぬ依つて腕用喞筒隊を各消防所に編成して非番消防手を召集して之に當らしめて居る

◆井戸溝渠池水の水利 腕用喞筒隊は先井戸溝渠や又は池水を使用するのであるが京城は至つて水の乏しい處であるから腕用喞筒に對しても水利はあると云へぬがありだけの水を利用する積りで喞筒に附屬して十字鍬「圓匙の樣な水を堰止める道具をも備へた先水標橋の川水など誠に乏しいながらも今日は消防唯一の水利である井戸などは水道水の用ゐられてから突然其數を減じたので當てにならぬが之れも用ゐなければならぬソコデ釣瓶なども用意した

◆水管自動車及水管馬車並破壞馬車に輕便消火器を備ふ 火災の最初は僅かの消防力でも防禦の出來る場合もあるのだから之を僥倖する積りで水管自動車、水管馬車、破壞馬車等の到著の比較的速かな車場には液體と粉劑の輕便消火器を數個宛積み込ませた

◆一層望樓の見張を緊張させる 一層望樓の見張消防手を督勵して火災を卵の中に發見せしめて水道水の來るのを待たずして消す事を期せなければならぬのである

◆勿論姑息 以上は勿論急場に處する姑息であるが此姑息を姑息ならずに成効せしめねばならぬ今は危急の場合である

◆破壞隊の勢力を增す 水利による消防の一方は破壞であるから平素の破壞隊に召集した非番員を加へて破壞力を强めた（警務部消防主任談）

◉一と網に四十萬尾 迎日灣鰊大漁

慶北迎日灣女南浦に於て去る四日又復鰊の大漁あり約四十萬尾一網に罹りたるも波濤高き爲め未だ之を曳き揚ぐる能はず風波の少く靜まるを待ちつゝあり實に同地方十年以來の大漁にして特に浦項市中は人氣益々引立ち近來稀なる活況を呈せり

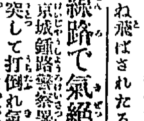
◉草刈鎌で陰囊を切る

江原道江陵郡資可面下詩洞農崔永順（三〇）は一月十四日午前十一時頃同里金周郷方北方約七八丁の畑中にて自家の草刈鎌を以て陰囊を根元より切斷して一時人事不省に陷りしも午後四時頃漸く蘇生して歸宅したるを家人が發見して大に驚き應急手當の上翌十五日江陵慈惠醫院に入院せしめ目下加療中なるが同人は平素親密の間柄なる隣家の金周郷に對し何故か『汝は嫂と密通し居れり』と認めたる書面を發送したるに却て同郷より將來を誡められたるを苦慮し一時に逆上して自殺を企て右の始末に及びたるものならんと

◉犬に咬まる 京城南大門通り三丁目今村某方の雇人松尾淸一（二）は二日午後五時頃太平町二丁目朝陽分折所前にて附近の飼犬に右の足首を咬まれ旭町瀨戸醫院にて應急手當を受けたり

◉小兒刎ね飛ばさる 京城黄金町二丁目卓記瑞の長男卓基永（九）は一日午後三時半頃黄金町三丁目十八銀行前を進行したる京城電氣會社の七十一號電車の車前を橫斷して刎ね飛ばされたるも負傷せざりし

◉線路で氣絶 三十日午後二時頃京城鍾路警察署前にて電車線路に衝突して打倒れ氣絶したる自動自轉車乘りあり署員駆付けて蘇生せしめたるが此者は唐珠洞二七李哲儀（三〇）と言ひ身體に異狀なし



▲四日の晩千代本で開いた立花蜻洲將軍の招宴は餘ッ程脫俗したものであつた▲並居る記者連の肚臍を拔いてやらうと云ふ計畫が副官部で畫策されたものと見ゆ▲月並のお膳料理はホンの形式に止めてチリに寄鍋幾個もの七輪が座敷中にづらり並んだ▲鍋は沸切る氣焔は上る▲誰の洒落か繃帶「毅氣充つ將軍の宴春立ちぬ」と筆太に壁上に駄句り上げる▲と又『紙澤山準備能在候間各位御揮毫願上候』と副官の筆だ▲早速承引して大垣京通大蓬磨を書き上げると山口大佝子がそれに讃をする▲興は盡きぬ腹は一杯に成る今度は藝妓をお客にして一同が給仕役を勸める▲藝者だつて斯なりや遠慮は無いと云ふので大胡座こそだが喰べる喰べる消華亭の三太たんか二十一杯も平げてケロッとして居る▲例に由つて寄書が始まる白水將軍が先づ『漢陽二月雪如霰、席騰酒香情不斜、誰道人間春未到、眼前粉蝶渾是花』と洒落れ踏めす▲お優しく出たのが山縣セウルプレスの『立花のゆかしきかげに打集ひ酒くむ夜のたのしかりけり』▲太郎の『よせなべに春の夜寒を忘れけり』は腹の膨れて居るだけに御尤も千萬▲お商の『お座敷と右から左りつま取りて藝者にひまのなきぞ悲しき』はことわり切めて何んとやら申し度く▲竹内中佐の『寄鍋に春暖かきけふの宴』で一同將軍のお挨拶通り大に快よく飲み快よく食た次第

謝近火御見舞 京城本町三丁目 早瀨友三郎

謝近火御見舞 京城本町四丁目 書肆 群書堂

謝近火御見舞 京城本町四丁目電話二三一二 秋場自轉車商會

謝近火御見舞 城野杜三郎

謝近火御見舞 本町三 海老原保平

謝近火御見舞 産婆 小林カツ 永井忠藏

謝近火御見舞 京城大和町一ノ四八 安藤靜

謝近火御見舞 京城大和町二丁目一三 朝鮮總督府官舍三號 遠藤柳作

謝近火御見舞 京城本町四丁目 金井眼科醫院 電話一五五六番

謝近火御見舞 京城本町三丁目 松田屋精肉店 電話二四五五番

謝近火御見舞 京城本町四丁目五番地 果實青物商 佐藤庄九郎

謝近火御見舞 京城本町四丁目 絹布類蚊帳呉服商 岩見乙松 電話一六〇二番

謝近火御見舞 京城本町四丁目 藥房 鈴木七星堂 電話二三二四番

謝近火御見舞 京城本町四丁目 福田屋質店

謝近火御見舞 本町三丁目 橋詰呉服店 電話一八〇一番

謝近火御見舞 京城本町三丁目 金物商 近藤金物店

謝近火御見舞 京城本町三丁目三十七番地 履物商 木原忠八

謝近火御見舞 本町三丁目 桃月 電話二三七二番

謝近火御見舞 本町四丁目 石橋久太郎 電話一五九一番

謝近火御見舞 京城本町三丁目 築地組本店

謝近火御見舞 京城本町四丁目 古物商 篠之内吉次郎

謝近火御見舞 京城本町四丁目 古物商 一六商店

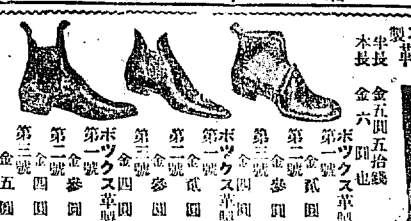
謝近火御見舞 京城本町三丁目 齒科醫 小倉三郎

謝近火御見舞 京城本町三丁目 精肉商 山口大助

謝近火御見舞 京城大和町一丁目 大倉組出張所 電話二〇四番

本日失火の際は早速御馳付消防に御盡力被下深謝候一々拜趨御禮可申上べき筈に候へ共混雜の折柄尊名伺ひ洩れ有之候やも難計乍略儀以紙上御禮申上候敬具 二月五日 淺野太三郎

最も信用ある東京三金の靴



ボックス製長靴 半長 金五圓五拾錢 本長 金六圓也
ボックス革製編上 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製變型 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢
ボックス革製深ゴム 第一號 金參圓五拾錢 第二號 金四圓五拾錢 第三號 金五圓五拾錢
右の靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造しあれば一般實用紳士靴として好適なり御注文の節は靴形紙と足型の寸法御通知次第代金引換小包（送料不要）にて送付す
東京市芝區愛宕下町 三金商等靴店 電話芝一六九〇 振替東京一七二三番 最新目錄代進呈

父二九郎儀豫て病氣の處藥石効なく去四日午後九時死去致候葬儀は六日午後四時半自宅出棺南山本願寺に於て執行可致此段生前辱知諸君に謹告仕候
追而供花放鳥等は故人の遺志により御辭退申上候
一月五日
嗣子 三輪正二
親戚 丹羽九郎
總代 森勝次
友人總代 河崎馬之助 田中榮

京城には何んな犯罪が多いか
殘忍なる殺人罪が幾分增加した

大正五年中京城本町警察署に於て取扱ひたる管内の犯罪總件數は五千四百五十三件にして是を前年なる大正四年度に比較するに一千八百餘件の增加を示せり而して

◆警察力 の實蹟を示すべき其の檢擧總件數は三千九百四十六件にして此の總人員三千十四人なり、此の犯罪種別を見るに最も多きは竊盗にして

◆昨年中 の被害總件數三千八十六件ありしが内檢擧されたるもの一千九十八件檢擧されたる人員七百十五人なり次は詐欺と横領にして詐欺の七百七十六件に對し九百八十八件の檢擧ありしは他署管内の分或は前年以降

◆未檢擧 なりしを昨年中檢擧したるものにして人員は六百八十四人なり横領は七百五件に對し前同様の理由にて檢擧數九百七十七件其の人員三百十二名なり其他の犯罪は前記三犯罪に比し僅少なるも賭博の二百七件傷害の百六十四件文書僞造の五十五件等

◆重なる ものにして何れも悉く檢擧されたり、之に次いで多かりしは賍物に關するもの、器物を毀棄したるもの、猥褻及び姦淫、家宅侵入、過失傷害、誘拐、印章僞造、恐喝、取財等にして殘忍なる

◆殺人罪 の如きも大正四年度より幾分增加し四年度は其人員七人なりしも五年度は件數に於て七件の增加を示し檢擧人員十名あり其他公務執行妨害、犯人隱匿、放火、通貨僞造、證券僞造、僞證、瀆職、暴行、過失に基く致死、屍體遺棄の罪、不法監禁逮捕、脅迫、名譽毀損、强盗等も若干ありたゞ更に一般より之れを觀るに

◆阿片煙 に關するものは從來阿片を支那の各地方より密輸しゐたるものなりしが昨今山深き僻遠の村落にて罌粟を栽培して粗末なる阿片煙を密造するものあるに至り昨年は成北明川郡にて栽培製造したる

◆九貫餘 の阿片を京城に持ち込みたるものあるを探知し同地に出張して犯人を檢擧せし以來該犯罪者を根絶するに至れり又通貨僞造の如きは一般小規模のもの多く錫と水銀とを以て

◆玩具に 等しきものを僞造し或は一圓紙幣の模寫をなしたる位のものなりしが更に文書、印章、證券等の僞造は稍其の數增加するに至り何れも詐欺取財の用途に供せられたる悲慘的の犯罪にして其他小切手或は約束手形を僞造したるものありたり（つゞく）

讀者文藝（一等には五十錢の御禮券を呈す）

△俗謠「見舞」

△寒さ寒さにや見舞のたより 認められても親は　龍山 岡本小草子

△我の一家が精に生きて うれし泣きする見舞金　京城 米晩

△たとて逢はれば猶さへおぼろ 雁の便りにやる見舞　纈州 叔

△堅りないかの見舞の文が 何故か涙の種となる　平壌 鉄山

△逢いでしようと見舞の手紙 梅の便りも添へて　水原 花心

△一等なし

東西藝妓氣合せ

ぽんた　京城中券清華亭

ぽんたは十四になる、一昨年から舞妓に出たが病氣で久しく休んでゐて今年の一月から改めて又お座敷へ出るやうになつた、踊よりは三味線が好きで小さい癖に三味線なら何んでも彈くといふ、三味線より好きなものは活動寫眞の松之助の眼玉と拳を打つ事で拳と名の付くものなら藤八でも柳でも狐でもジヤンケンでも何でもやる相手があれば喧嘩もするかも知れない、兎に角無邪氣な妓でお座敷へ出ると皆に可愛がられてゐる、年越しの晩には仲居さんに化けて精々ませたところを御覧に入れて、お客さんを唖と言はせた

小やじ　釜山桝家

小やじは何時も前垂れ髪の初々しい姿をしてゐる、それが鳥渡お酌とは見えないけれども、遊藝は何んでも好きで元祿などを舞ふ事は巧いものである、去年の十二月から披露目をしたけれども立派なお酌になつてゐる、唯脊が大へん小さく十一位にしか見えないので御贔屓のお客は『小人島』のお姫様だと言つてはお客からからかはれるけれどそこが又何んとも言へず可愛い

鍾路署の擊劍會

京城鍾路警察署にては一箇月の寒稽古無事終了したるを以て四日同署に於て松井署長より其の證書授與式あり引續き目覺しき擊劍仕合ありたり

球突き屋で

仁川龍里金元錫（三〇）は花町一丁目木村某の經營なる宮町俱樂部に雇はれ撞球のゲーム代金取立中昨年十二月三十一日同町高杉外九名より集金したるもの、内より二十一圓餘を横領消費したる爲め此程京城地方法院にて懲役六箇月の處分となる

斷水期間中最も必要な消火機　熊平支店の飛行機印

火事の期節とも云ふ可き今日此頃のお寒い冬の夜間午後七時から午前六時に至る間京城全市に亘りて水道の給水が斷絶すると云ふ事は實に近頃の一大問題である萬一其斷水時間中に誤まつて火事騒ぎでも引起した場合消すに一滴の水もなく火勢は朔風に煽られて見る〳〵焦熱地獄を現じ出す様の事なしとも限られぬ若し斷水時間内或地點に火災を起したりすると其箇所迄臨時給水を爲すには早くて三十分山手の高所は一時間半も要すると云へば今後一週間斷水期内の京城は殆ど何等防禦力なしに祝融の大厖胛の前に投げ出されたものと云はねばならぬ斯る危急存亡の場合率じて一條の血路を拓くのは消火機の利用であらう本町二丁目熊平支店の一手販賣品なる飛行機印粉劑消火機の如きは突嗟の場合の消火の場合には功力顯著現に料亭千代本のボヤの大事に至らなかつたのも確かに該粉劑消火機の御蔭であつたさうで遞信局からも此程一時に三百本を買上げたと由又京城消防常備隊からも斷水中に火災と云ふが如き場合飛行機印粉劑消火器の利用方に就て熊平支店に交涉あり熊平にては必要の場合何時にても社會公共の爲め此飛行機印粉劑消火機は有効の割に簡短なる機械にして定價一本二圓なるを此際特に一圓六十錢以上は更に大割引を爲し更に輕便なる方法として二本一週間は三十錢二週間なれば五十錢にて公衆の便宜の爲め熊平支店にては貸付しなすとの事

神社とお寺と教會

○妙心寺二月接心　臨濟宗妙心寺別院にては五日より九日まで午後六時三十分より九時三十分まで夜座接心を修行する由

○曹洞宗別院（若草町）　五日午後七時より法華經講話ある可く尚六日婦人教會例會は休會なるべし

○西本願寺（若草町）　五日午後六時より月例講話あり

○東本願寺（南山町）　七日午後七時より信友會及び新年會を催す由

だいどころ　その日〳〵

▲牡蠣の衣揚げ　メリケン粉を溶し牛乳と玉子の白味で溶き鹽胡椒で味を付け鹽水で洗ひ笊に揚げて好く水氣を切つて置いた牡蠣にまぶし胡麻油で狐色に揚げる

商況

公債直取引（京東）

	三日出來値
五分利	八二、三三〇
五分特別	八三、三〇〇
甲四分	九四、八〇〇

深川在米特電

	三日現在高
朝鮮米	一七八、八五九
内地米	一八三一、五七七

東京期米特電

三日前場	四月限
寄付	一六、九一
高値	一六、五八
安値	一五、八三
止め	一五、九九

大阪株式

種類	拂込額	三日後場前場
宇治川水	五〇、〇〇	五七、〇〇
神戸電鐵	五〇、〇〇	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	—
和歌山電	二五、〇〇	三〇、三〇
合同紡績	二〇、〇〇	—
鐘淵紡績	五〇、〇〇	三四、一〇
同上新株	三七、五〇	一四、〇〇
東洋物糖	三五、〇〇	三三、〇〇
大阪商船	五〇、〇〇	三一、〇〇
日本郵船	五〇、〇〇	三一、五〇
大阪米穀	五〇、〇〇	—
東京新株	三五、〇〇	三六、三〇
大阪新株	五〇、〇〇	三三、五〇

大阪三品特電

三日後場		
一月限	一七六、八〇	一七五、八〇
二月限	一七六、〇五	一七六、五〇
三月限	一七三、九五	一七二、五〇
四月限	一七三、〇五	一七二、〇五
五月限	一七二、三五	一七一、〇〇
六月限	一七一、七〇	一七一、五〇

大阪期米特電

五日前場	
當限寄付	一四、九四
中限寄付	一五、六九
先限寄付	一五、七六

下關期米特電

五日前場	當限	中限	先限
寄付	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]	[illegible]

雜報

●綿糸更に低落（獨逸）

の中立國船舶撃沈の宣言は米國棉花市場に大恐慌を與へたると同時に本邦三品市場にも又少からぬ反響を齎らしたり四日前場に於ける三品相場は米棉暴落の報導に當限ㇾ…（以下不鮮明）

●米獨斷交と影響

石油は軍用品として莫大の需用あれば米獨國交斷絶と共に市場に大影響を生ずべしと豫想せらるゝも未だ詳報なし運賃保險料の騰貴は明かなるが朝鮮に就ても…（以下不鮮明）

●器械類缺乏？

●銅價

●亞鉛板新高値

●太物類と帶地

二十平板十五錢乃至十五錢方の暴騰を演ず

昨年より一割五分一割高

帶地西陣物

高いメリンス縮緬物取引

森仲買店　仁川海岸町三丁目　米豆取引所仲買人　電話本店長八六九

●牛脂目先高

下關相場

好況に傾きつゝあり

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山米市場

三巳仲買店　仁川米豆取引所仲買人　海岸町三丁目

生魚市場

仁川期米

大阪前寄十五圓七十六錢と一昨止り二十二錢下放れ入電

二圓八十二錢跳返

寄付大阪五節八十九錢と更に高移り

市場零聞

▲更に下押す

▲巨大に賣る

▲能く賣る

仁川米豆取引所　五日の四月限

賣買取組高

靑物だより

買賣

期米　三井商店

▲至能く賣る
▲り能く賣る
▲日能く賣る
▲下大に買ふ
▲イ能く買ふ
▲中能く買ふ
▲黒能く買ふ
▲今の買退き
▲平の商内
▲全の商内
▲入氣賣逸る
軟派の追猛突烈にて一面に利喰買退く同時に賣り直し來る

演藝案内

御成座　御成町　電話二九一　中村梅昇一行

大正館　櫻井町　電話八七三

浪花館　明治町　電話二六〇

黄金館　早川直營　電話二六三七

壽座　京城壽町　電話五七八番

期米　大阪堂島米穀取引所仲買人　今延商店　致富之架進呈

海州地方法院　大正六年一月二十五日

水道の斷水と　緊急廣告

夜間水道斷水すれば火を消すに水無く火災の危險言ふ可らず候就而右斷水期間中弊店特賣の常備用消火器飛行器印粉劑消火器を左記の大特價を以て全市民に提供可仕緊急廣告仕候

飛行器印粉劑消火器　一本特價一圓六十錢

貸付方法　二本一週間　三十錢　二本二週間　五十錢

電話六二四番　各種消火器　御用商　熊平支店　京城本町二丁目

醇良清酒　白鶴　仁川本町三丁目　增本酒店　電話一〇九番　振替京城六一九番

商標變更廣告

從來⊕の商標を以て營業仕り居り候處今般都合に依り商標を⊕に變更致し候間倍舊御引立願上候

大正六年二月五日　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町三丁目一番地　仲買店　齋藤榮之助　電話三六七番

昔も今も　効能で賣れる　せうふくひめくさもり　逆上を引下げ便通をよくし黴毒其他諸毒を下す　大日本大阪西成郡　電南七三六　本家七ふくや伊藤長兵衞

廣告　木炭廉價販賣　新幕産根炭上等　但し百俵以上御入用の御方様には特に御相談可仕候　京城岡崎町　三幸洋行　電話二八〇〇番

醫化學諸器械一式　仁川本町　北島藥店　電話三三四・振替京城六一七番　京城本町　北島藥店支店　電話七六一番　京城永樂町

藥種賣藥卸商

內科小兒科　入院隨意（普通病室並に隔離病室）　京城旭町一丁目　小林醫院　醫學士　小林千詩　電話六九二番

汽車

明君道中記

第五十一席 田邊南龍口演

山ノ井忠右衞門は馬から下りやうとする時に一人の足輕が突出した六尺棒、忠右衞門の鼻を突いた、酷くては居るし逆上したものと見ゑダク〳〵と鼻血が出た、忠右衞門は眼眦み裂き槍で突れたものと思ひましたから忠『不屆者め』と刀の柄に手を掛けて馬上より拔打に其の足輕の眞向に斬付けたから血煙立て其處へ仆れる、それを見て一同の足輕共ソレ脱すな討捨てしまへと八方より棒を以て打つてかゝる、忠右衞門はもう是までと思ひ刀を以て棒を拂ひ右左へ切拂つて居りまする、忽ち二三人手を負つた樣子、向ふの方に床几にかゝつて是を見て居たのが、物頭の毛利賢治郎といふ人、床几を離れて立上り傍にあつたる槍押取る鞘を拂つて飛込んで來たが、今忠右衞門が刀を拂ひ上げた處を、脇腹を臨んでエイと突いたから何にかは以て堪らん、忠右衞門はアッと云つて落馬いたした、起上らんとする所を、賢治郎槍の石突を返して襟首へ差込み一聲高くエイと二條の堀へ打込みました、山ノ井の家來は後から尾いて來て是を見たが、大きに驚き○『是だから云はんことではない』『何にいたせ早々立歸つて申し上げやう』と皆々立歸つて參りまして重役へ云々と申し入れる、重役より宰相忠直公へ申し上げると、忠直公聞いて忠『憎い奴は毛利の家臣賢次郎とやら此方家來の山ノ井忠右衞門を槍玉に揚るとは何事だ、早速毛利家へ懸合賢次郎を申し受けて參れ、予が側取いたしくれる』と仰せられるから毛利家へ使者を立て此の事を申し込むと何が此方も三十餘萬石の毛利家のことであるから例へ御家門と雖ども更に構はない、大膳大夫(毛)『山の井と申す者が此方の家來を斬捨たに依つて賢次郎が速かに敵を取つたのである、それに何ぞや賢次郎を引渡せとは怪しからんこと、越前家に引取るべき弓矢があらば毛利家には渡されないよ弓矢がある、早々立歸つて宰相殿へ左樣申せ』と云ふ以つての外の返答である越前家の使者は立歸り此の事を忠直公へ申し上げると、忠直公増々怒つて忠『イヤ否長なる大膳大夫の一言、其の儀ならば弓矢にかけて賢次郎を引立て參れ』と茲で戰の用意をいたし、大津八丁より二條を指して押出さうとする、早くも是を聞いて大膳大夫憤然と怒り毛『例へ御家門なりと雖も驚くに及ばん、當家は大江廣元以來の舊家毛利家の弓矢の程を見せつけくれん』と弓槍鐵砲雜刀得物〳〵を取出しソレ押出せといふ騒ぎ、イヤ京中の騒ぎ一方ではございません、是が爲に主上は御退幸に相成り將軍家も二條へお引揚げに相成りまして、實に大した騒ぎとなりました、是を聞いたのが五條を固めて居りました伊達政宗侯、此の方は奥州青葉山の城主六十二萬石伊達大膳太夫政宗、生れながらにして一眼だと云ひますが、然し古今稀なる豪傑、流石秀吉公も政宗には一目置いたと云ふ位、然し愛嬌の無い方で、平素恐い顏をして居るから誰が云つたのか

今日を晴れと旦那だて(伊達)して政宗が辻固め(片目)をば光かし居る

といふ落首を立た位である、此の政宗が是を聞いて大きに心配いたし、今日は大切なる御大禮の當日かゝる事を爲出來して妨げては朝廷に恐れあり、且將軍家に相濟ぬ譯政宗自身に出張いたして是を取鎭めんと思ひましたが、きつと思案をして家老片倉小十郎を呼出しました

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

齒科診療 野田齒科醫院
本町一丁目三越向 電話一〇四七番
齒科醫士 野田應治

明治町三丁目 御神教會隣り 岡村介石堂

二月七日 九紫
舊正月十六日 庚辰
木命 五黄 八方塞 佛滅

▲五黄● 不調和の事有る日新事見合南方は吉 移轉見合すべし▲六白● 倖福の日轉居入學念件名弘家作求職出願婚姻乘馬た求る節萬吉▲七赤● 願望成し上げる日轉居入學轉居吉 女子の心行を慎まれ 立身を爲す願る掘ふべきの日也▲八白● 損となる事有り落付て新事手控當の事は吉▲九紫● 大當りの日轉居行商入門名弘求職念談建築新築定期物萬吉▲一白● 四度目なき事有る日新事手控 轉事は吉 女子は行儀を守るべし▲二黒● 有がた難儀の事有る日新事手控 移事は吉 一切のかけ事を禁ず▲三碧● 兄弟垣に關係の日新事手控 移轉は吉 買物に用心せらるべし▲四緑● 不運の日なれども新事控目の方吉 移轉は妨なし

京城學校組合告示第壹號
京城學校組合區域内ニ居住スル内地人兒童ニシテ明治四十三年四月二日ヨリ同四十四年四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月一日ヲ以テ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童保護者ハ所定ノ入學書ニ戸籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十八日限リ京城府學務係又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ
大正六年一月十日
朝鮮總督府府尹 金谷充

各地支部長募集
讀者の最も便益なる文明的販賣方法を以てする有益書籍の販賣に一事業として多大の報酬と賠償的奬勵法あり詳細は郵券封入請求あれ
東京市下谷區西町三 帝國教育學會

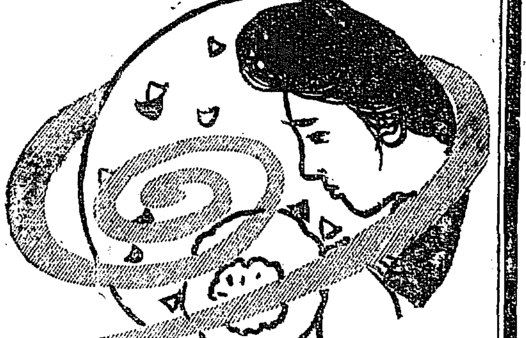
二枚續き 毛布無代進呈
壹千組限り 開業一週年祝賀記念として無代進呈す
▲優美 白毛布 二枚續き 特價四圓五拾錢
▲上等 鼠毛布 二枚續き
▲大判 茶毛布 二枚續き
右何れも參圓九拾錢
右の價格にて提供す尚記念品として一組毎に試用枚數一組宛無代進呈
鼠毛布
希望者は至急ハガキにて申込むべし代金引換にて送る但し滿數後は拒絶す
東京下谷西黒門町元 越後屋毛布店

ルーデサック 特製品
A十個四十錢 上十個六十錢 變形一個廿五錢 女用一個八十錢 廿個以上一割引 郵券代用一割增 外に要送料 總べて前金の事
京城黄金町三ノ三二七番 振替京城 山田文殊堂藥房

苦境から 男のひみつ病 樂境へ
專賣特許 眞空療法
東京國天堂病院始め陸軍士官學校の專賣特許手島式眞空器は一人で簡單秘密に局部に外用し得て一回毎に卓効現れ生殖器の短小や萎縮、早漏、神經衰弱等を手輕に治す、ハガキで申込ば圖入說明書を進呈す
一(專賣特許に非ざる新案特許あり其判別を誤る勿れ)
東京京橋木材木町三ノ二五 東京新療法研究所
大阪市北區北森町一番地 大阪新療法研究所
無代進呈

恩給 年金 即時立替
京城府黄金町三ノ三四四 朝筑社(永樂町通花本洋服店裏)

スグ効ある最新最良の眼藥は
特長 ○最新高貴藥を配伍す。○製劑は嚴重に殺菌消毒す。○効驗は迅速偉大なり。
主効 ○トラホーム ○やにめ ○はやりめ ○うみめ ○かすみめ ○めくさ ○其他眼病諸症に効あり。
○外の眼藥で効なき人試よ。
新式点眼器付十錢、廿錢、卅錢、弐拾錢
全國各藥店に取次す
本舖 大阪 東京 丹平商會藥房



身を切るような此頃の寒い風
婦人には冷えるのが何よりも毒
病氣の人も健康の方も
朝は働く前に 夜は寢る前に
命の母を召し上つて身體を心から溫められよ!

●白帶下ながが血に苦しむ人
●脚腰冷えて頭痛する人
●子宮病にて下腹の痛む人
●逆上にて背肩のこる人
●ヒステリー血の道の人
●月經滯り或は不順の人
●つわり又は流產に苦む人
●產後の肥立ちあしき人
●手足冷え安眠の出來ぬ人
●妊娠して安産を望む人
●弱き婦人子なき人は明日と云はず今日試みられよ

藥價 試用分十錢 一週分八十錢 二日分廿五錢 二週分一圓半 五日分六十錢 五週分三圓
加減藥、命の母約二割增
買へ全國信用藥店販賣す 方なくば本舖へ

婦人病の人は是非讀まれよ
北島、佐藤、西巻三醫學士共著
婦人病者心得 目次
月經不順の治療法 月經時の注意 月經の閉止 月經過多症 月經の困難
子宮諸病の治療法 子宮内膜炎 子宮外膜炎 子宮實質炎 子宮周圍結締織炎 子宮周圍腹膜炎
不妊原因療法及受胎の心得 不妊症の治療法 受胎に就ての心得
產前產後の攝生法 不妊娠を判斷する法 妊娠の攝生法 流產の原因及療法 產後の攝生法
ヒステリー(血の道)の治療法 ヒステリー症の原因其の病狀と治療法
婦人諸病療法 帶下 子宮癌 月經痛及其攝生法 女子の淋疾消渇の攝生法 貧血症

上掲「婦人病者の心得」は葉書にて御申込あり次第無代進上いたします

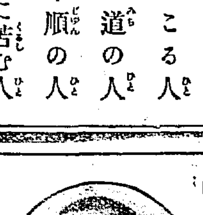
命の母

婦人靈藥 命の母 本舖
東京新榮町四ノ一 電話京橋二〇二一 振替東京五〇五〇
笹岡省三藥房

木登する魚

陸に上り木を攀ずる魚 木に緣て魚を求むる喩

中村歌右衞門談



章魚が陸へ上つて山芋を盜むなぞと云ことはよく承はりますが此は實際ありますことかどうか未だ見たこともございませんが魚の中に陸へ上つて大喜びをしたり御機嫌がいいと木登までするものがありますさうでございます。專門家に伺つた話ですが、其魚はペリヨフサルムスと云ふのださうで普通に『四方睨』と云ふ綽名がついて居ります。大きさは鯊ぐらゐのもので一寸ダボハゼの樣に見ますのが前の鰭が長くつてその先が團扇の樣に擴がつて居て此鰭で立上つて顔から高く飛出した目をくる〳〵廻して四方を睨む有樣は凄い樣でもありますし又滑稽でもあります。『四方睨』と云ふ綽名は此から出たのでございます。此は南洋の島々で潮の退ました濱邊などにピンピン跳くつて居るさうですが日本でも臺灣の澎湖島の濱邊に居りますさうです。何故此魚が濱邊の潮の退た處へ上るかと申しますと一つは氣晴しもあるのでせうが、一つは濱邊のじくじくした泥の上には餌食となる蟲の類が多いからで小蝦や昆虫などは此の『四方睨』の大好物だと云ふことでございます。周邊に何も居ず安全だと思ふと身邊を曲たり伸したりして面白さうに跳廻ります。此が前鰭で泥の上を歩いたりしますが御機嫌がよくなりますと章魚の足の樣な根で濱邊に生ねて居る木の根にのこのこ登つて行きます。前鰭で根をしつかり抱きしめましてじりじり進みますのですが、それでも地面から三尺四尺時にはもつと高くまで登ります。斯うやつて登つてしまつた時人の姿が見れたり足音がしたりしますと直地面へ飛下りましてピンピン跳る樣に大急ぎで水のあります處まで逃て潜り込みますさうでございます。

南洋產のは可なり大きいさうですが日本のものは一寸から二寸位ださうでございます。妙な魚もあつたものでございます。昔から木によつて魚を求むるなぞと出來ない相談の例にまで引いたものですが世が進みまして研究が進みますと斯樣な木に登る魚も發見されることになります研究の進むにつれて種々なものが出て私共がお蔭を蒙りますのは此魚の發見だけではございません私共の日常使つて居りますミツワ石鹸の出ましたなぞも確に此研究の進んだお蔭でございます。以前は石鹸で顔を洗つたりしますと皮膚が荒れると云つて嫌つたものでございます。それは從來の粗惡な石鹸でさへ顔が荒るとかつたので御婦人方はお用ひにならなかつたものですが、ミツワ石鹸が出來ましてから皮膚のかよわい御婦人方お子さん達まで此ミツワ石鹸を用ゐて安心して顔をお洗ひになりますが此は此ミツワ石鹸が皮膚を刺激して荒さないだけではなく日本人の皮膚に適ふ樣に研究精製された理想の石鹸だと云ふことが廣く知れ渡つたからでございます。全く日本人の洗料には此ミツワ石鹸に及ぶものはございません。

▲中村鴈助曰く 御婦人方は勿論のこと男子の方でも髪油をお用ゐになります方にはミツワ椿油をおすゝめいたします。髪の發育もよくなり、抜毛切毛も少なくなり、頭垢も溜らぬ美しい髪になり度い方は此のミツワ椿油をお用ゐになりますに限ります。此のミツワ椿油とは普通の椿油とは違ひまして、本場の椿實のよく熟したのを冷壓法で搾つた純良此上もない椿油でございます。

(ミツワ文庫六●二)

第三版

京城日報

二月六日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢郵税一ヶ月金拾五錢（前金に限り前金三ヶ月分三四錢六ヶ月分四圓）

廣告料 五號活字一行金八拾錢

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

七十八錢と…先限府村十五円 [illegible]

一百物悉く…微兼裡に徹底強き成行を示し…[illegible]

▲三錢大…入荷に接したり日先利…し八錢と散會を告げたり市況は相場の變動に迷ふが戻りは又押し八錢と大…れ人氣頗ぶる…押し來り强弱入り亂れとの大激戰を演出したり不知今後の成行や果して如何

▲㊦大に買ふ 千餘石に上りたりとの事一面五千餘石の賣あり…たるも大に注目を惹いたり 後場同店より買たる玉數無慮一萬三千…目を惹いたり

▲㊥能く買ふ 後場同店より買たる玉數四千餘石に上りたりとの事一面千餘石の賣ありたるも注目を惹いたり

…萬千石の大商内行はれたるか鮮衛㊥の買進みに各店より能く買向ひたるも十二圓六十七錢より七十八錢と上伸し三錢と押し四錢と大激戰裡に散會を告げたり向今後も斯る手筋の大激戰を見るならんと期待せられ居れり

[illegible]

米獨國交の斷絶に就て

山縣生

外電傳ふる所の米獨國交の斷絶は種々の點より觀察して頗る興味ある大問題である。先づ何が故に兩國の關係が斯の如く緊張するに至りしかを考へて見たい。

兩國の關係は開戰以來屢々危機に瀕した。殊に英米を連絡する大西洋航路の巨船ルシタニア號が獨逸の潜水艇に撃沈せられて、其乘客中米人の難に遭ひし者ありし時、米國は強硬なる抗議を獨逸に送り、次でアラビック、サセツクス等の諸船が同樣の難に遭ふや、米國は重ねて抗議を送り、遂に獨逸をして、警告なくして敵の商船を撃沈する事なかるべしと約せしめた。米國が獨逸に對して此く、行動を縛るに至つたのは苟も國際法規の中に、商船は警告なくして撃沈すべからずとある條項を楯に取りたるにて、米國の希望する所は獨逸をして潜水艇戰を放棄せしむるにあつたのである。蓋し米國は聯合軍側の諸國殊に英國との商業關係密接なるが故に、獨逸の潜水艇をして自由に通商航路を妨害せしむる事は其忍び得ざる所なのである。

獨逸の側から見ると、米國の抗議は之を容るゝの頗る辛き事情がある潜水艇は他の軍艦の如く堅固ならず一砲彈にすら容易く沈沒せしめらるゝが故に國際法規の命ずる如く、敵の商船を臨檢し捕獲し、又は警告を與ふるは甚頗る困難とする所である。且つ米國は聯合軍側にとりては軍需品の主要なる供給者で、多量の砲彈糧食等が絶えず米國から英佛諸國へ中立船によりて輸送せられつゝある事は獨逸にとりて大なる苦痛である。獨逸は成らう事なら、かゝる中立船は悉く之を撃沈してしまひたいのである。

斯る事情あるが故に獨逸に於ては米國の抗議に對し、之を拒絶するの議論が頗る強かつた。前の海軍大臣チルピッツ大將の如きは最も強硬に米國の抗議を顧慮せず、開戰を賭して迄も、容赦なく潜水艇戰を行ふべしと主張した。然し獨逸帝は米國迄も敵にする事を好まず、泣く〳〵チルピッツ大將を革職し、米國の抗議を容れた。

然るに戰局は獨逸の豫期する如く好都合に進行せば、バルカン半島に於てはセルビヤ、ルーマニアを撃破し、東に於ては露軍を壓迫し、又西に於ては英佛聯合軍の進出を支へ得たれど、何日勝利を獲取し得べきや見込が立たぬのみか、聯合軍側は時の進むと共に、却て勢を加へ、較もすれば攻勢に轉ぜんとしつゝあり、のみならず、英國海軍の有効なる封鎖の爲め、獨逸は殆ど全く國外との交通を絶たれて、物資の供給絶ゐんとし、食糧不足して飢餓が來らんとするの患がある。斯の如くして獨逸は今や危急存亡の域に在る。乾坤一擲の大賭博を試みて、勝敗を決せねばならぬ。

聯合軍側は陸戰に於て常に比較的不利の狀態に在るにも拘はらず、別に大に衰ふるなきは一に英國の在るが故である。英國はナポレオン時代に於けるが如く、其味方にとり軍資及び軍需品の供給者であるのみならず、徐々に大兵を養成して大陸に送りつゝあり、其爲すが儘に委せおかば獨逸は遂に覆沒の運命を免れ難く見ゆる。かくて獨逸にとりて最大最強の敵は英國で、此大敵をさへ打破れば勝利は獨逸の手に歸するのである。而して英國を屈服せしむるの途は其國を封鎖して、糧道を絶つの他はない。然も獨逸の海軍は英海軍に劣りて之を爲すを得ず、唯一の方法は他迄潜水艇を利用するにある。獨逸が今回制限なき潜水艇戰を宣言し、聯合國との交通に從事する船舶は悉く之を撃沈すべしと決心するに至たのは其最大の目的は英國を屈服せしむるに在るは多言を要しない。

潜水艇戰は獨逸の最後の賴みの綱である。獨逸が米國との國交斷絶へ進んでは開戰を賭して迄も、此方法に由る事を決心したのは、一方に於て如何に獨逸國内の狀態が窮迫せるかを示すと共に、如何に獨逸が潜水艇に大なる希望を繋いで居るかを示すものである。獨逸が此希望を有するにも亦根據が無いとは言へぬ。過去半年間に聯合國並に中立國の船舶の、獨逸潜水艇の毒牙にかゝりしもの八百三十一隻に及び、英國は近頃食糧問題を心配せざるべからざるに至り佛伊の如きも英國よりの石炭供給不足なるが爲めに軍需品製造上少なからぬ苦痛を經驗しつゝあるやうである。伊太利に於ては此頃石炭一噸の價七十圓に上りしといふ。此一事を以て見るも、如何に獨逸の潜水艇の兇暴なる活動の有効なるかが察知せらるゝのである。今後獨逸は無制限に潜水艇戰を行はんと決心した。其活動は從來より一層劇烈となるであらう。聯合軍側に於て如何に之に對する策を取るかは頗る興味ある觀物である。

顧りて米獨國交の斷絶は如何に戰局に影響すべきか。國交斷絶はやがて開戰に進むべく、結局獨逸は世界を相手に戰ふの位置に立つに至るであらう。

地質調査（七）

地質調査の應用及び世界重要國に於ける其の調査機關

（鑛務課長）村田素一郎氏談

●（領土若くは植民の調査事業）（續）●

ニユージーランド地質調査所 ウエリントンに在り、ニユージーランドは面積約十萬四千平方哩人口約八十萬人を有す本所は所長一、地質技師一、鑛山地質技師一、古生物學技師一、地形技師二、書記一より成り地質鑛産圖及報告書を出版す

新南威爾斯地質調査所 シドニーに在り、新南威爾斯は面積約三十一萬平方哩人口約百三十六萬人あり、本所は鑛山省の所管に屬し所員は地質技師四、分析技師一、同補一、古生物技師一、同試補一、地形技師一、同補三名にして陳列場を備へ地質鑛産圖及調査報告書を刊行す

西濠太利亞地質調査所 ペルスに在り、本殖民地は面積約九十七萬平方哩に達すと雖人口僅に十八萬人に過ぎず、而して本所は一千八百四十七年に始まる、地質調査は千八百七十八年に至りて設立せられ、鑛山省の所管に屬す所員は技師二、同補一、分析技師一、同補一、同補一、地形技師一、同補一、書記一名より成り文庫及び陳列場を具備し地質鑛産圖及報告書類を出版す

タスマニヤ地質調査所 ラウンセストンに在りタスマニヤは面積約二萬六千平方哩人口約十七萬人の小殖民地なり、本所は鑛山省に屬し主任地質技師一、同試補二、鑛山技師一、書記一名より成り文庫及び陳列場を具備し調査報告書を出版す

ピクトリヤ地質調査所 メルボルンに在りピクトリヤは面積約八千平方哩人口約百二十人あり本所は所長一、地質技師十名より成り分析所陳列場及び文庫を具へ地質圖及び數種の報告書を出版す

クウヰーンスランド地質調査所 ブリスベーンに在り、クウヰーンスランドは面積約六十七萬平方哩人口僅々五十萬人なり、本所は鑛山省に屬し主任地質技師一、同補三名調査に從事し數種報告書を出版す

日本地質調査所 東京に在り、本所は現時農商務省鑛山局に屬し分析所陳列場及び文庫を具備し所員は技師九名囑託一名技手及び屬十七名其他雇員十數名あり其の分掌左の如し

所長技師一名、地質係技師五名技手二名、地形係技師一名技手三名、鑛物調査技師一名分析係技師一名技手五名、陳列館技手一名但兼務、庶務屬一名技手一名、本所創立以來從事せる縮尺二十萬分一圖幅地質調査は約三十年の年月を經大正二年度に於て略之を結了し大正三年度に於て更に精確なる地質調査を企圖し大正四年度より之が調査に著手せり而して其地質圖幅は縮尺七萬五千分の一にして緯度三十分緯度十五分を以て一幅とし學術及び應用上必要に備ふ精にして縮尺一萬分一、二萬分一等の地質圖を作製し之を刊行す而して技術官一名の功程を一年一幅とせり出版する文書には地質要報、地質調査所報告及び鑛物調査報告等あり

「大正の青年と帝國の前途」を讀む（三十一）

大谷光瑞

（大正五年十二月十二日上海に於て）

往昔は猶可なり、微力なりと雖も、滿洲の朝存せり、今は否らず、特に昨年以來、最も混亂せり。大總統主權を有すと雖も、中心に非ず、支那の大總統は、北米合衆國の例に非ず、佛蘭西の例に非ず、別に一例を建つ。國務院中心の如くして否らず、議會中心の如くして否らず、法は猶解し易し、事實は決して法の如く單純に非ず。或は曰く、大總統と結ぶは可なり、或は曰く、國務院と結ぶは可なり、或は曰く、議會と結べば可なりと、三者皆可ならず、國民全部と結ぶに非ざれば可ならざるなり。今の北京政局は、猜疑、排擠、構陷、嫉妬相繼いで至る、如此きと結ぶも、果して何の得る所あらんや。況や一と結んで他を相排する如きは、決して親善の道に非ず。日支親善すべく、[illegible]等と三五相親善するに非ざるなり。

國民全部と結ぶは、言ふべくして行ふべからずと云ふも、是を外にして策なし。行ふべからずに非ず、行はざるべからず、況や其策決して不可能に非ず、唯我帝國の決心如何にあるのみ。先づ我の態度を言明し、彼をして疑を解かしめ、而して猜疑を解かざれば、其失彼にあり、我の知る所に非ず。疑惑の氷釋は、畢竟時間の問題に過ぎず、我態度を言明せば、斷々乎として、是に準據して進行せば可なり、彼若借款を欲せば、之に應せば可なり、彼若非行あれば、是れを改めしめば可なり、彼の内政に干與するの要絶對に無しと雖も、善意の忠告は、之を與ふるも可なり。善良の朋友は、諂諛のみに非ざるなり。忠告逆耳を妨げば、之を諂諛すべく、猶暴力を加へば、我干戈を執るを辭せず。而して我は孔子の云ふ王道を以て本とし、善隣の實を擧げ、誠意を以て、支那の安寧を維持せば、疑惑は時を經て氷釋せんのみ。是を行ふの徑路は、羊腸崎嶇たるも、我大方針を執り、不屈、不撓以て進まば、何の處か達せざらん。其小策を弄し、小惠を以て親善の實を期せんとするは『是自から欺くの言にして、他豈欺かれんや。我帝國宰相を更ふる毎に、對支政策を一新せんとす、一新素より可なりと雖も、甲乙丙丁皆長策に非ず、幾回の一新を經るも、失敗の結果は、同一なるのみ。今の宰相又對支政策を一新せんとすと云ふ、果して如何なる一新をなすや、根本の大方針を樹立し、以て是に遵ふに非ざれば、今日の一新亦昔日の一新と、其轍を同うせんのみ。不肖は之を將來に徴せんと欲す。

日英貿易盛況

●大正四年の輸出超過●

大正四年に於ける日英貿易は輸入輸出共に歐洲戰亂の影響を被り著しく變調を呈せり即ち日本より英國への輸入は總額九百三十七萬九千四百三十二磅に上り之を前年の輸入總額に比較するときは五百二十七萬四千二百十八磅の増加なり又英國より日本への輸出總額は五百十七萬九千四百二十四磅内英領殖民地並に外國生産品の再輸出額二十萬二千七百六十九磅にして前年の輸出總額に比し三百三十八萬千三百五十一磅の減少を示す換言せば大正三年に於ては英國より日本への輸出額が日本より英國への輸入額に超過すること四百四十五萬五千五百六十一磅に達したるも大正四年には日英貿易は全然逆調を示し日本より英國への輸入額が英國より日本への輸出額に超過すること四百二十萬八磅なり蓋し日英貿易史上未曾有の現象と謂ふべきか而して大正四年に於て前年に比較し其の輸入著しく増加せる主要なる貨物は豌豆、米、魚類等の食料品、大豆、豆油等の原料品及び銅絹製品組製品等にして輸出の減少著しき主要貨物は機械類肥料毛製品及び兵器等なり（倫敦領事報告）

節分

（の夜に擬上げて五の日十の日會第五十回於江戸川に設く）

○豆打つ旅立ちの慌しく　華虹
○惑根白ロ横はり節分の女　坡柳
○電話借に來る職人の節分也　浮碧樓
○節分の三味一挺に崩るゝ　虎耳
○足早に行くや節分の豆撒く　芳草樓
○又見ぬ女となり節分　鳥堂
○町見通し節分晴の雪白　日池

日報詩壇

○寄荻山君養痾于別府温泉　成田　魯石

聞説寒比地烈于冬。百物凍凝途絶蹤。堪憶故人親藥鼎。重衾不暖少春容。
地稱不老信仙鄉。浴客東西來去忙。氣温泉堪洗病。瘦軀全負幾斜陽。
予今別府是仙鄉。地有温泉不識滄。浴餘閑天鷲日。一竿宜釣育王洋。
昨今寒氣九年來。梁烈勤梅花未開。惆悵硯塵慵打盡。媛爐擁火待春回。

評曰　首首皆實況、句句亦洗練、全絶類擬、敬服。

○五男生名曰克己　森下　半狂

凜烈寒颸宇宙生。呱呱聲和怒濤聲。男兒本領稜稜骨。與汝銘心克己名。

評曰　言微旨遠、訓誡極深厚

○偶成

死生窮達本天然。天理不知愚與賢。利於吾似應荼。五男五女幸頑全。

評曰　豪放可喜

○夢富嶽　圓山　牧雲

煙水茫茫曙色通。皇畔岳雪聳蒼穹。句中未及他靈運。春度廬生一枕風。

評曰　輕妙

○遠山雪　栗原　華陽

昇平景象治堯邦。翹首東方瑞氣封。遙想九重宸詠就。旭光先照玉芙蓉。

評曰　詩亦吟彊、有明韻

善隣商業學校生徒募集
本科一部一年（内地人）五〇名
本科二部一年（朝鮮人）六〇名
豫科一年（内地人）六〇名
夜學專修科（内地人）八〇名
夜學高等科（内地人）五〇名
規則書入用ノ方ハ郵券二錢封入セヨ
入學願書提出期限三月一日ヨリ同二十五日マデトス　豫科試驗ハ申請中

在朝鮮内地人紳士名鑑出版延期
内容數千名に渉る經歷の調査上時日を要し候爲め出版期日を四月一日に延期致候間御了知相成度候
追て未だ弊社より經歷に關し御交渉に接し未だ御回答無之御方は至急御回報下され度願上候
大正六年二月六日　京城太平町二丁目　朝鮮公論社

賜天覽　普通書肆の企て及ばざる破天荒の月賦販賣法
伯爵土方久元閣下題辭　帝國教育學會編
帝國百科全書
菊大版最新式活字二千百餘頁（普通活字を以てすれば七千餘頁となる）總クロース金文字入美裝
定價金五圓也　特價貳圓八拾六錢　外送料内地十六錢朝鮮臺灣樺太四十五錢
内容は何れも現代數十の碩學鴻儒が半生心血の結晶にして現代國民の必要缺くべからざる社會萬般の活智識を網羅す、茲に本書販賣拾萬部に達したる紀念として破天荒の特價貳圓八拾六錢即ち三ケ月月賦の特典を提供す但第一回は壹圓八拾四錢及送料の拂込者に對し即時送本す（あと五拾壹錢宛二回送金）
各編目次　皇室、宗教、哲學、政治、外交、法律、經濟、軍事、内務、交通、拓殖、移民、美術、工藝、數學、天文、地理、歷史、理化學、博物、文學、韻文、身、教育、水産、漁業、商業、工業、建築、家政、衛生、衣食住、茶、花、禮式作法、音樂、遊戲、劇、將棊、武術、相撲、運動、易、占、其他
編纂發行所　東京市下谷區西町三　振替東京四二一八番　帝國教育學會

講師＝東京高等工業學校教官分擔執筆
工業講習錄　建築科
會員募集　學科見本進呈
■大工は勿論建築に從事する者は必ず讀め□家作主にも適當な參考書なり。
■絶大の信用ある本會工業講習錄は内容平易簡明、職工徒弟の獨習又は教科書として適當なり。
西洋家屋構造□日本家屋構造□仕樣見積計算□規矩法□建築用材料　建築製圖（日本及西洋）□測量法□大工實用計算□建築架構□物理□數學　其他
東京市小石川表町　振替東京六一八〇　電話番町三七六八　大日本工業學會
（本會には機械科、建築科、應用化學、電氣工學（二回二回）の五大講習錄あり希望のものを申込まれたし）

▼朝鮮官民必備之寶典▲
朝鮮六法全書
定價金一圓八十錢　郵送料金二十錢
最新刊　大正六年一月一日現行。三百餘件。印刷鮮明。校正嚴密。四六版總六號活字三段組。總布上製紙數七百餘頁。
發賣所　東京市神田區仲猿樂町一　大阪市北區曾根崎上三丁目　朝鮮京城本町二丁目　巖松堂書店
（振替）東京六五五六番　大阪二一九七二番　京城二四五四番

蘇峰　德富猪一郎序　農商務省參事官　男爵　伊藤文吉著
獨逸の經濟的勢力
定價壹圓五拾錢（郵税十二錢）　總布上製各種著色版統計圖表卅四種
目次　▲第一章　總説　一、歐洲大戰後の經濟戰爭　二、國防・工業貿易　▲第二章　獨逸産業發達の沿革　一、保護政策の確立　二、農工商業の發達　三、獨逸の國富　▲第三章　獨逸産業の現況　一、石炭　二、製鐵及鐵工業　三、化學工業　四、纖維工業　五、精糖工業　六、玩具　七、農業林業及漁業　▲第四章　獨逸の産業發達の諸因　一、獨逸氣質　二、教育制度の完備　三、資本及企業の集注　四、勞働者保護　五、交通機關の發達　六、海外銀行　七、獨逸商人の販路の開拓　▲第五章　獨逸の世界的發展　一、殖民　二、敎化政策　三、列强の世界經濟政策　四、合衆國の産業に於ける獨逸人の功業　▲各國産業統計の比較圖表　▲獨逸産業發達の統計圖表　▲日本重要輸出入品番附
△報知新聞評　獨逸が聯合軍と開戰以來既に二年に垂んとし、然も其戰鬪力毫も衰へざるのみか、多々辨ずるの概あるもの果して何に因て然る乎。吾人其の無限的戰鬪力の背後に『獨逸が多年の準備と計畫とありし事を知ると共に、特に最近約半世紀間に於ける獨逸産業發達の效果』最も偉大なるを認めずんばあらず。△報知新聞曰く世人やゝもすれば獨逸の軍國主義を説いて其經濟的方面に着眼する無きを慨し、獨逸の經濟的勢力の絶大なる所以を詳述す。議論頗る精確にして甚だ信據するに足れり。殊に附錄として卷尾に掲げられし各種の統計圖表は、一目獨逸の經濟的勢力を明かにするを得て便多し。』此の言の如く著者は、最新の材料と最近の事實とを綜合し、之を叙述するに的確なる識見と、平明なる文章を以てし最近五十年間獨逸産業發達の沿革より、現時隆盛の狀況を詳にし、其の發達進歩の諸因を究め、世界に於ける獨逸國民の發展の情形を明にし、以て日本の現狀と比較對照し、痛切に日本國民の深省と發奮とを促がせり。實業家は勿論、實業教育に從事する者、又た經世に志ある人士の必讀す可き刻下有用の良書也。
賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

米獨關係

▲米國大統領の演説

三日午後二時大統領ウヰルソン氏は米國議院に於て次の如き演説をなしたり即ち獨逸海軍の爲め米國船舶及び人命の犠牲に供せらるゝあらば余は再び必要なる方法を要求せん然も獨逸が何等かの敵對行爲を執るべしとは信ずる能はずと切言せり右演説了るや全院起立し歡聲を擧げウ大統領の退場する迄全議員起立し居たり（華盛頓電報）

▲軍事公債決議案提出

米國下院に於て二十五億弗の軍事公債發行決議案提出されたり（紐育電報）

▲米國の對獨行爲と通牒

米國政府は中立諸國に對し對獨行爲に就て通知を發し若し獨逸の新潜航艇戰が中立國の權利を侵害せば米國と同樣の行動に出でん事を勸告せり（紐育電報）

▲獨大使瑞公使に託す

旅行券を受取たる駐米獨逸大使ベルンストルフ氏は駐米瑞西公使に託し獨逸に關する事項を取扱はしむる旨發表せり（紐育電報）

▲獨逸外交の利益代表

瑞西公使館は政府の緊急命令に依りて米國に於ける獨逸外交上の利益を代表する旨發表せり（紐育電報）

▲米國無線電信局押收

米國官憲はアッバム無線電信局を押收したり（紐育電報）

▲獨逸愈々狂暴を逞うす

倫敦來電＝米國汽船フウサトニック號はリリー群島の附近に於て獨逸潜航艇の爲めに擊沈せられたり（紐育電報）

▲駐日米國大使斯く語る

駐日米國大使ガスリー氏は語つて曰く米獨國交斷絶の電報は只今本國政府より來れり而して米國は直ちに駐獨大使ゼラード氏に旅券を要求すべく電命し駐米獨逸大使ベルンストルフ伯に對しては既に旅券を交附せり國交斷絶の理由は曩に獨逸潜航艇戰に就き米國に對し如何なる場合に於ても人命救助の設備無く且つ無警告にて擊沈せざる事を堅く誓約したるに拘らず今回の宣言は根柢より此の誓約を破棄したるものにして世界平和の爲め容す可らざる所爲なり大統領ウヰルソン氏は三日上院外交委員會に向つて國交斷絶の已むべからざる理由を發表せり之れ果して米獨の開戰となるや否やは言明し難きも大統領ウヰルソン氏の此の宣明は即ち米國全國民の擧つて賛成する處にして狂暴なる獨逸を膺懲するは實に文明の戰なり此の戰の爲めに努力するには一人の反對者無きは云ふ迄もなかるべし云々（東京特電）

旅行券を受取りし 駐米獨大使ベルンストルフ伯

○交涉案實行方法協議

張督軍は日支交涉案實行方法に就き連日秘密會議を開き協議しつゝあるも未だ政府より正式の訓令到達せざるを以て何等決定を見るに至らず我が領事館は五日右に關する督促公文を發せり（奉天特電）

○楳鐵增資協議

本溪湖楳鐵公司は五日午前總會を開き增資案を協議せるが支那側よりは馬交涉員代表者として出席せり（奉天特電）

○陸氏下關出發

陸宗輿氏は五日午前八時二十分聯絡船櫻丸にて下關着、東京より出迎へたり令弟陸宗幹氏と共に同九時五十分發列車にて神戸に向ひたるが氏は東亞ホテルに一泊の上東上すべし（門司特電）

滿蒙近事

▲東蒙郵政の擴張　蒙古に於ける支那郵便局は唯た庫倫に一個處あるのみにて其他は皆露國郵便を經由して發受せし處歐戰以來從來の此方法に由る時は非常なる遲延を來たす事となりたるを以て東三省郵務管理局は交通部に具禀して內外蒙古に支那郵政を擴充する事とし先づ內蒙の昭烏達、錫林郭勒等盟に郵局數箇處を開設する筈にて現に着手中也

▲烏金河金鑛採掘　黑龍省烏金河金鑛は最近調査の結果鑛脈の豊富なるを發見し黑省長は官款十萬元を發して鑛務局を開設せん事を政府に申請せり許可次第哈爾賓より工夫を派して採掘を開始する由

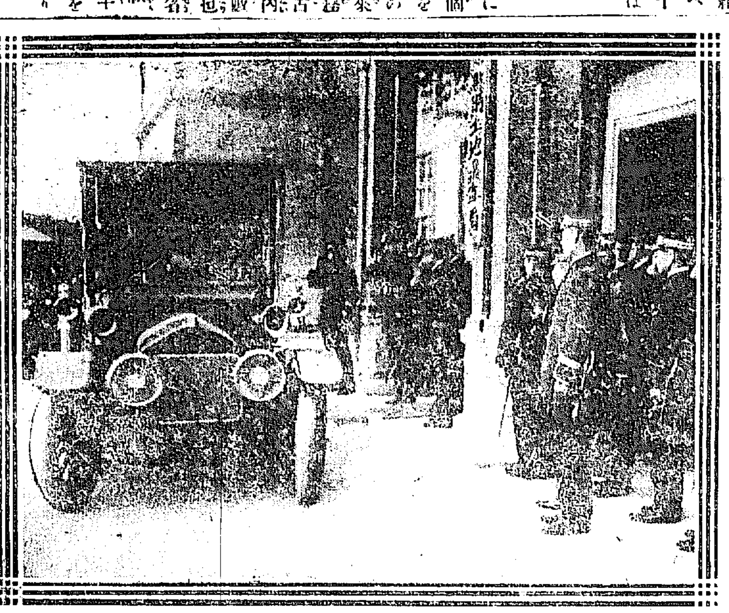
▲吉長鐵道の繁昌　吉長鐵道は目下吉林より長春への輸送貨物輻輳するを以て貨主の利便を圖り特に材木、穀類及び煙草の三種に限り一車以上の積載貨物は該鐵道營業課に於て其積込手數を爲す事とせり

▲赤峯電燈の起業　某々日本人等は昨年來赤峰に電燈を創設せんとし種々運動中なりしが支那政府は此利權を日本に與ふるを不利とし調査員を派遣せし結果所要資本六萬元中熱河方面より二萬元財政部より四萬元を支出し起業の事に決定せり猶電話は熱都統に之が開設を命せり

▲伍總長留任懇請　奉天張督軍以下民間各團體幹部等は此次の日支交涉に於て伍外交總長が七十の衰軀を提げて難局に當り終に良好の解決を告げたるを偉なりとし過般一同名義を以て感謝の意を發電したるが昨今伍氏辭職說あるより現在事局艱難なれば枉げて國家の爲めに留任あり度き旨の懇電を發せり

▲大倉喜七郎氏來

大倉喜七郎氏は煤鐵公司の結局總辦、林理事、宮崎秘書、河野北京出張所主任等を從へて二日午後六時二十分著車にて本溪湖より來奉し同夜は金六に於ける有志招待會に臨み三日張督軍を訪問して煤鐵公司增資に關する打合せを爲し同夜有志を招待し二三泊の上本溪湖に歸りて株主總會を開き增資案を議定する由（奉天）



・長谷川總督の巡視―高等法院及び土地調査局

◎朝鮮貿易（十一）

五、輸移入貿易（續）　輸移入品種の增減狀況及び其の因由

▲鐵（條竿及び板）（增）　八十三萬七千五百五十九圓にして四十二萬一千七百四十七圓の激增なり前年に於ては急激なる市價の變動と建築界不況の爲入荷減退せしに反し本年に入りては市價も順調に復したるのみならず建築工事の興起、起業設備等の必要增加せしに因る

▲電鍍板（減）　三十萬一千七百五十六圓にして僅々三萬七千四百二十九圓の減退に過ぎざるも數量に於ては四割餘の減退なり之れ市價の暴騰に因り自然消費の節約を來したる結果なり

▲鋼（條竿及び板）（增）　二十二萬四千四百九十八圓にして十三萬三千六百九十七圓の激增なり鑛山業の隆盛に伴ひ鑛材等として需要增加せしに因る

▲鐵釘（增）　三十六萬九百六圓にして十八萬八千二百十五圓の增加なり本年一般建築界の好況殊に師團增設に伴ふ陸軍建築工事用等大に需要を喚起せしに因る

▲鐵鍋及び釜（增）　二十三萬五千三百五圓にして八萬五千五百二十四圓の增加なり之れ主として鮮人購買力の增進に因るものとす

▲諸器械類（增）　二百二萬五千七百十圓にして八十萬三千百七圓の增加なり事業の勃興擴張等に基くものにして鑛業器械、電氣、瓦斯、繰綿器械等の入增特に著し

▲葉煙草（增）　四十六萬四百四十四圓にして十一萬七千四百八十一圓の增加なり製造煙草の輸出增加其の他煙草製造業の發展に伴ひ原料葉の需要增加せしに因るものにして支那及び米國產の入增大なり

▲生皮及び熟皮（增）　生皮七十七萬三千七十三圓熟皮百六十一萬三千八十六圓の入荷にして前者六十五萬九千三百十五圓後者八十六萬七百六十一圓の增加なり永登浦皮革會社に於ける露國軍需品製造原料を主とし皮革製品の輸出增加に伴ひ需要增大せしに因る

▲陶磁器（增）　五十七萬二百三十九圓にして十七萬三千二十七圓の增加なり主として購買力の增進に伴ひ鮮人間に於ける需要好況なりしに因る

▲窓硝子（增）　二十二萬八千八百七十六圓にして七萬五千四百十三圓の增加なり本年建築工事の增加は自然本品の需要を喚起したるものなるが價格の暴騰も主なる原因にして數量に於ける增加は二割に達せざるなり

▲セメント（增）　七十九萬四百七十九圓にして十四萬五千三百九十八圓の增加なり起業設備其の他一般土木建築界に於ける需要大なりしに因る

▲叺（減）　六十四萬八千九百九十七圓にして十四萬七千二百五十八圓の減退なり移入關腹の不足と朝鮮に於ける產額增加に主因し尙ほ米穀移出の不振も之が一因たり

▲マッチ（增）　八十萬二千八百九十九圓にして二十六萬六千二百五十八圓の增加なり主として價格の騰貴に因るものにして數量に於ては僅少の增加に過ぎざるものとす

▲ダイナマイト（增）　三十六萬八千七百七十四圓にして十九萬八千九百七十六圓の增加なり從來英獨產を主とせしを以て戰爭の勃發は忽ち輸入に影響を及ぼしたるも本年に於ては米國及び內地より多額の輸移入ありたると一面鑛業界の活躍は大に本品の需要を增加せしに因る

▲金地金（增）　百十九萬六千六百九十二圓にして百四萬九千三百五十三圓の激增なり滿洲に於ける朝鮮銀行の活動に依り頓に流入額を增加するに至れるものにして更に內地に移出せらるゝものなり

◎大阪と朝鮮米

先年米價騰貴の際朝鮮貿易組合は朝鮮米の輸入を獎勵せしが精白方法の改良により今日にては同米の需要相當盛んとなりしも運輸機關の運用圓滑ならず解船不足にて市內に持ち運ぶ事困難なるのみならず築港の各倉庫も在荷充滿して滯貨を收容する能はず又た梅田驛にて入關手續きを了せんとするも場所狹隘にして多數の貨物を取扱ひがたくされば目下門司にて稅關の手續を終はり梅田發にて各地へ配送の仕別をのみなさんとの議あり同組合にては滯貨處分法を協議しつゝあり近く運送會社及び鐵道院に交涉し一方市電貨車運轉促進をも市に對し請願すと（大阪）

○米大使國交斷絶通告

駐日米國大使ガスリー氏は五日午前十時本野外相を官邸に訪問し口頭を以て米獨國交は三日午後二時を以て斷絶せる事を通告し同時に從來同大使に於て代表せし帝國に於ける獨逸の利益は今後恐らく瑞西公使に於て之を代表する事となるべきも未だ確定せざる旨を申添へたり（東京特電）

人事往來

◎西脇警視嚴父逝去　京畿道警務部勤務警視西脇賢太郎氏は嚴父逝去の報に接し郷里岐阜縣へ向け出發せり來る十一日歸京の筈なりと

▲尾崎敬義氏（實業家）　六日朝入京の豫定

▲葛原猪平氏（殖產銀行員）　同上

▲矢鍋永三郎氏（元山稅關長）　五日夜入京不知火へ

▲澁澤益太郎氏（仁川稅關監視課長）　同上

▲池淵嘉生氏（元山土木出張所長）　同上

南言北語

總選擧で大分急がしい後藤內相諸客に對し餘裕を示して曰く▲牛の背に君が代謳ふ童の心や如何に樂しかるらむ▲も一とつ「心ある人に見せばやふる雪に烏拉山の朝景色かな」サと例の鼻眼鏡を掛けたり外したり▲議會では極めて元氣の好い岩本平藏君▲愈々之れから選擧に出かけるんだネー君之からは下女にも叮嚀に御辭儀をせねと感情を害する大損があるからナア▲下女へのお世辭はまだ好いとして犬も猫も果は牛迄褒なけりやならぬ苦しさを思ふと選擧は決して壯烈なもんでないよ」と▲山形縣前代議士國民黨の豪傑伊東知也君は今度大に悟らざる所あつて『廢めた〳〵』と言ふから候補斷念だと思つて居ると『野次は全廢だ』と何の事だい▲例の四十萬圓を教育資金に投じて同僚をアッと驚かせて羨望の的になつた著炭居士藏內治郎作君には面白い逸話がある▲嘗て令弟米次郎君が頭山滿翁と逐鹿場裏に輪贏を爭つた事がある▲其の時頭山翁から藏內君に使者を以て「今度の選擧には弟君を引込めて僕に加勢してくれ」と頼んだ▲外ならぬ翁の依頼とあつて藏內君早速承知し「此の首に賭けて貴下を當選させます」と請合つて令弟に委細を話すと『選擧の事ばかりは兄弟でも他人だ』と頑として聽せぬ▲幸か不幸か投票の結果は頭山翁の負となつたので翁の配下の豪傑連承知せず▲藏內家の玄關に坐り込んで『約束通り首を渡せ』と喚鳴つた▲藏內君少しも動せず言下に『約束の首は遣るが大切な首だから頭山サンが取りに來れば渡す』と喝破して對手を凹ましたのは今でも一つ話になつて居る

文章世界 二月號

▲新年創作印象……相澤忠郎
▲懸賞小說作者物語……
▲生と藝術と……ロオラン
里見弴論……秋聲 泡鳴 小劍
▲印度洋上より……吉江孤雁
▲寫生から象徵へ……
▲家鴨の水かき……田山花袋

特待生（小說）村山勇三
めくら（小說）田村俊子

漱石研究
漱石先生の思出……森田草平
夏目君の文學論……大塚博士
夏目さんの人格……畔柳都太郎
悲しみの中より……里見弴
夏目先生の表現……野上豐一郎

定價二十五錢 郵稅二錢 東京 博文館

修養世界主筆 菅原洞禪先生著
和漢古今 禪門佳話
和漢古今の名僧高士が喫茶喫飯裡の王三昧、悟道見性の活作略を一々著者の筆端に躍動して興趣無限、縱奪自在の機略、逆順縱横の消息、讀者直に個中の端倪を會し、本來の面目に接すべし
菅原洞禪著 禪林奇行 一圓八錢
加藤咄堂著 劍客禪話 八十錢 稅八錢
定價金一圓 郵稅八錢
東京小石川原町 振替一五六八六 丙午出版社
京城 大阪屋號

實業之日本
物價騰貴に伴ふ 俸給の上げ方
戰後悲觀の理由なし……大日本製糖社長 藤山雷太
豫言者と記者との問答
今年は日蝕や月蝕が多く大彗星も現はれる、此天象の變化は人類の運命と關係あるか、本年は日本及世界の上に驚くべき事變は起らぬか……考星學豫言者隈本有尙氏と記者との問答を見よ……
變に處する道……增田社長
人相と手相……新渡戶博士
儲かる道德……浮田博士
山下汽船總支配人 松木幹一郎氏
京都で名つた實業家
石油界の麒麟兒……
銀の錆（東京某商店の大失敗實際話）
毛織物二大會社評論
著名實業家の二代目……
大食して病を治す法……醫學士
理想的 養力法……吉光寺醫學博士
一月一日號 二月一日號 一冊拾參錢 郵稅壹錢五厘 半年壹圓八十五錢 一年參圓七拾錢 東京京橋 實業之日本社 振替東京三二六

藥瓶 標本瓶 醫科學用印刷物 懇切迅速 特色
京城本町二丁目 問屋 大畑六三商店

静岡縣農事試驗場 農藝化學部 病虫部御指導の元に精製したる
(北)印精製強度 石灰硫黃合劑
本品は純良にして効力適確と價格低廉とを以て本品の特色とす
静岡縣清水港 製造元 北村製肥工場
京城南大門通四丁目 朝鮮元賣捌 駿府商會
電話 二一六一番 振替京城三八四一番

…の大部隊は已に外蒙及び哈拉哈河一…
▲東俊交も迫りて已に凍…
▲引上げ以て休養せしむ
…は其天職なれば蒙匪軍に對して完…全の責任を負ひ…
▲自轉車詐欺　岡山縣御津郡…岡坂某方の飲食代一圓五十錢を踏倒して逃走し此程京城に來り徘徊中を…

……に至り……を陥落せしめ又索倫山に……この勢ひは官軍退却と與に大活動せ……東珠爾……到り偵探するに……豪匪の中に……して歩行太だ難く……各科兵士は氷天雪……請せ上處……ざる可からざるを以て張司令官に……て實行す可し作探剿匪に當り過防……び官匪側の消長之れに由り……端を豫知するに足る可し(未完)

●絶海の新領土に　皇室中心主義

タイクで黄く塗り立てゝる土人

鎭海要港部司令官海軍中將　東郷吉太郎氏談（南洋新占領地物語の四）

如何に絶海の新領土であるにしても大日本帝國の一部分に加つたからには何處までも日本の國是である處の皇室中心主義でなければならぬ予は此の國是に反する如うな敎義を取つて居る宣敎師などは遠慮なく退去を命じた而しながら彼等が異に何者をも挾まず單に其の宗敎の爲めに道を傳へると云ふ程度のものには敢て迫害を加へた譯では無かつた、基督敎と雖も亦彼等を敎化したる上の事蹟は大いに認めて遣らなければならぬ

■斯の主義の上から　群島統治の始めに於て群島の住民は古來甚だ殘忍殺伐であつて闘爭を好み一時は戰闘の爲めに各種族は甚だしく人口を減少し危く其の種族を絶滅しやうとした者さへ有つた位だ然るに

■基督敎の傳道の盛んなると同時に人民は漸次勇氣と氣慨を失ひそれと共に闘爭も少くなり獨逸の領有に歸するに及んで島民に一切の武器を所持せしめぬ事となつたから今では温和順良の民となつて居る島民の俗を移し氣風を改めたと云ふ上に就ては基督敎徒の効果も亦決して尠くはない群島には古來チャモロ族、カロリーネン族、サモア族の各種が住んで居るが各群島相互の交通が不便であつた爲め言語風俗慣習を異にして同種族の者も殆ど異なる民族の如うに見わる

■今後遠からずして　此の群島の各民族が悉く日本語を以て相通じ同一の日本人として相來往する事を考へると限りなく愉快である、守備司令部の所在島たるトラック島の住民はカロリン族中の劣惡なる種族だと云はれて居る人口稠密の爲めに他島に出稼する者も尠くないが到る處で盗癖のあるのと狡猾の爲めに嫌はれて居る樣子である、島民は長髪裸體で男子の腰部に布片又は袋を纏ひ女子は袋を下半身に纏つて居る

■中年以上の男女は　共に全身に黥して居るが現今では守備隊から嚴重に黥を差し止めて居るから漸次全身に黥をする者は尠く成つて來る、又島民は耳環、頸環、腕環等を愛好し耳環等も大きなものを用ゐる爲めに耳朶は環狀に垂れて肩に及ぶものさへある又奇異なる風習としては男女共にタイクと云ふ草の根から取る黄色の粉末を全身に塗抹し大いに裝飾を施した心算りで得意に成つて居る

■單に全身を黄色に　塗るばかりでなく衣類、武器家具に至るまで此のタイクで黄色く塗り立てゝ居る、島民の常食は麵麭果、タロ芋、ヤム芋其他の果實であつて之れを蒸し又は燒いて食用に供して居る殊にタロ芋は其莖葉長大にして丈餘に及び其の芋は一莖のもの數人分の食用と爲る事が能きる程の偉大なる芋である副食物には魚肉を用ひ稀れには雞、豚、犬等の肉を食する事もある人口は一萬二千内外である

●兵に風邪をひかせては可かんぞッ

將校幕舍の一夜—「上等兵以上集れ!!」

龍山野砲兵中隊寒夜露營の記(三)

◆火の壺を圍んで　十六人詰の將校幕舍の中には前田中隊長、山崎、岩本兩中尉、輝山特務曹長と記者の四人が赤く座られた民家の好意を感謝し乍ら澁茶を啜つてゐる幕舍の中には一面藁を布いて其の上に毛布を被ひ、一隅には角燈の淡い光がボンヤリと四人を照らして居るので、山麓の夜の靜けさが加はつて行くに連れて何となく、馬賊の部落か、水滸傳中の梁山伯に居る樣な感じがする「ねー君今晩愁り

◆野營ロマンスで　も見て行き給へ仲々面白い者だせ我々は演習の艱難を露營の和樂と假睡に依つて慰藉されるんだね、マア飯盒飯でも喫べてから、浪花節でも語らせやう」と中尉が言ふ中隊長は從卒を呼んで「上等兵以上は七時に集まれ、帶劍の必要無し、さう又曹長に傳へろ」と命令を下してから「僕等が露營地で一番嬉しいのは地方民が誠心誠意迎へて與れる事で

◆兵馬の生命とも　謂ふべき衞生的の水や藁や木炭等の補給に便宜を計つて貰ふ時は實際涙が溢れる程嬉しい者だよ」と言つて頻りに仁川府廳で共用栓の鍵を貸與した事や、馬繫所其他の斡旋に對して感謝して居た其處へ從卒が飯盒飯を持つて來た、夜食が了るとパンと菓子が中食として配給される、大氣が乾燥して居る上に猛烈な行軍した爲め渴を覺ゆる事切なるに偏て加へて

◆幕舍内の炭火の　爲めに聊か上にも咽喉が乾くので暫くの間に鐵瓶の熱湯數杯を呑み干して尚且つ頻りに水を要求する從卒は此れが爲め奔命に疲れ相であつた「中隊長殿、上等兵以上が參りました」幕舍の外で上申すると『ウム靴のまゝで宜いから中へ入れ……オイ足を出せ、坐ると服が破れる……お前達は何故陰に詐り行くのか

◆もつと火の傍へ　寄れ……」宛然で我子の樣に優しい言葉を與へた、中隊長は曹長以下八名が幕舍の中へ入ると嚴格な口調で「今日の演習の講評をする、砲車の位置を定むるに當つて駐鋤溝を造らなかつたのは惡い、土地が氷結して居る場合は必ず駐鋤溝を造る事、第一砲車が早足の命令を受け乍ら早足の出なかつたのは馭者が拙劣であるが爲だ、抑も馭者は三馭六脚と言つて

◆三つの鞭を以て　六脚の馬を自由に操縦せねばならぬ「終りツ」中隊長の講評が了ると山崎中尉の講評があつて最後に「昨夜咳をしたのは誰か兵に風邪をひかせては不可んぞ、炭酸瓦斯に中毒されない樣に一人づゝ必ず起きて喚氣法を行へ、明朝は六時半に起床七時半に幕舍を徹する事但し早く徹して寒い所で飯を食はせてはならん……」叱つたか!」

◆噛んで含める樣に敎へた、幕舍の外には馬の鼻面を敲いて「コラッ明日は家へ歸れるぞ」と言ふ聲が聞ゆる（仁川支局特派員）

◆山の神に猪の舌を捧げた和田參事

竹葉山の巻狩に名譽恢復の大奮戰

[illegible]濟局の和田參事が[illegible]お腹が痛んで居た猪さんだつたろうと云ふ噂とりどり[illegible]和田參事の諸[illegible]に此の前[illegible]十三人で春川街道へ出て一日猪を探し廻つたが[illegible]一行に出くはし「猪が出たが撃ち損ひ」と[illegible]旅人の與市兵衞を狙はぬやうにして貰ひたい[illegible]春川街道の方は見限りを付けて[illegible]朝鮮人の勢子を十人ばかり雇入れて[illegible]いくらでも猪が出るが三度も四度もしたゞ遠くから[illegible]見るだけで一向彈の中りそうな處に遣つて來ない、そこで一策を案じて自分は谷に下りて其處で猪の來るのを待伏せなして居る中に勢子が兩方の山から聲を揚げて追ひ立てゝると案に違はず大猪が山から谷に逃げ下つて來る樣子そこで此方……大猪はノソノソと山を下て此方に來る樣子であつた[illegible]待つて居るとは知らぬ大猪はノソノソとするのをこらへて狙を打つと手が堅く[illegible]して居る目の前六七間の處まで來る[illegible]ポイントをやつて方向を轉換した處をズドンと遣ると[illegible]は適切り抛げられて終つたと力を落して居ると鐵砲の音を聞いて集まつて來た朝鮮人が猪が死んで居るとの事、夢中に成つて駈け寄けて見ると紛ふ方なく自分の打止めた大猪が嬉しいのなんのと云つて天にも昇る心地だ朝鮮人は『コマプソ』と口々に感嘆して乃公を凱旋將軍でも迎へる樣に取卷いて手柄を褒め立てる、その内に朝鮮人は古い慣式に由つて猪の片耳と舌とを切取つて山の神に捧げて勝利のお祭をやつたが[illegible]こんな[illegible]愉快の事は生れて始めてだ

獲物を前にした和田參事

●居直り強盜　袋叩きにさる

慶北慶州郡府內面西部里元甲述弟[illegible]元龍安(三[illegible])は一月二十六日午後十時頃同郡西面花川里姜一元方に侵入して同人の首筋を引つ捕へ洞内の資産家を敎へた上有金を出せと所持の鉄を示し尚ほ拳銃にて射殺すべしと威嚇したるも目星しきものなきより同里金天潤方に突入し前同樣に金品を脅迫したるも美潤が所持せざるを見て他より調達し來れと命じ悠々同家に待ち構へ居る處へ同里の夜警團員萬述、金述浩、金兆浩、[illegible]仁浩等其他三十餘名が驅付け賊を捕縛せんとしたるに激しく抵抗したる後遂に袋叩きにされ數箇所に手傷を負ふて取押へられ一方急報に接した慶州警察署阿火駐在所より警官出張同人を引致し目下取調中

●漁夫行方不明

濟州島東中面表善里高述[illegible](一[illegible])は自己所有の漁船(十五石積)に外五名の漁夫と共に乘組み一月九日午前八時頃同里の海岸にて出漁中暴風浪に襲はれたるものが今日迄歸來せざるのみならず屍體さへも發見せず多分遠洋に吹き流され溺死せしものならんと引續き濟州警察署にて搜査中

●拳で毆り殺す

京畿道楊州郡和道面東山里金[illegible](三[illegible])は同里姜妙福の妻趙小雪が昨年十月初め伯父の妻金姓女(一七)を同里の山中に誘致して居村の尹龍奕と私通せしめたることを探知し同月八日午後十一時頃趙小雪を自己の從兄なる金光容方に連れ行き拳骨にて同女の頭部左顳部等を亂打し腦に異狀を來さしめ翌九日死亡するに至らしめたる事件は此程京城地方法院にて伯願は懲役二年の處分となれり

●親子三名相擁して　飢と寒さに泣く

京城並木町居住大阪市北區木町三丁目生れ堀川ふく(三[illegible])は內縁の夫佐藤仁三郎と同棲中は辛くも同人の日稼に依りて生計を營みゐたるも同人は昨年九月中滿洲方面に出稼ぎの儘今日迄更に一片の音信なく全く行衞不明となりたる爲めふくは長女きさ(五)次女きよ(三)ある上に既に姙娠六箇月の身重となり居れるも別に一文の收入もなき爲め昨今僅か許りの家財を賣り拂つて其日其日を凌ぎ居りしが今は又鐘一つの收入も得ず[illegible]一同僅か一疊の板敷の間に母子三名相擁して飢餓と寒氣を凌ぎ居る中先頃より幼兒は二名共百日咳に罹りたるもふくは行商も出來ず醫藥を購ふ途もなく只附近居住者の同情に依りて辛くも露命を繫ぎ居れるも[illegible]目下本町警察署に於て同人の模樣を詳記して京城[illegible]に救助方を申請したる由なるが一方本町警察署よりも調査する所あり若草町曹洞宗別院にては直ちに金七圓を贈與し尚當分の間月々六圓宛を支給すべしと

●無宿者

慶南昌[illegible]郡[illegible]山[illegible]加藤甲成八永(二[illegible])は一月十四日午後六時頃同里の成勲鎬(四[illegible])が同事務所に使役人夫として面事務所の裏にある松の樹を伐採し居るを見て自宅の庭の近くの松を伐るとは不都合なりと横合より鎌を揮りて負傷せしめたるに遂に二時間許りに死亡するに至りたる所以[illegible]八永は昌原警察署に引致されたり

●京中武術會

京城中學校にては來る十日武術大會を開催し京城の劍士も出場する由なれば定めて盛況なるべし

●圖太い料理人

廣島市西新町生れ京城旭町二丁目居料理人吉原謙次郎(二八)は昨年十一月七日廣島縣呉市中通三丁目西洋料理屋大住すみ方に雇はれ中同家の雇女花田そよの銘仙羽織一枚外五點(十九圓餘)を盗み又いつよの瓦斯縞單衣一枚(三圓)及び主家の物品一點を竊取し十五圓餘に入質し之れを旅費として渡鮮入京して來公中本町署に引致さる

●放蕩から竊盜

福島縣福島市早稻町生れ當時住所不定佐藤儀太[illegible]……

●公金で遊蕩

廣島市西新町生れの高木源一(二[illegible])は全南光州郡光州面北門通に居住し光州郡廳雇中大正五年五月より同十一月迄の間に[illegible]より納入したる學校增築保證金、國有地小作料金、國稅徵收手數料、農事補助金、各面共同購入物品代等を前後十回に亘り合計六百六十餘圓の公金を横領して遊興費に費消したる形跡ありて同人は此程光州署に引致さる

●雇主家から騙取

大阪市南區難波町四丁目生れ淺野由三(三[illegible])は昨年五月より京城本町一丁目菓子屋松下某に雇はれ中十二月二十五日蓬萊町[illegible]より賣掛代金十一圓五十錢を取立て、横領し尚同日龍山迄餅の運搬をなすに當り剰錢として携へ行きたる三圓餘と受取りたる餅代十圓とを歸宅の途中遺失し餅箱も路傍に打棄て置きて逃走し其後主家の名を詐稱して兩三軒より賣掛代金を騙取したる爲め此程京城地方法院にて懲役六箇月の處分となれり

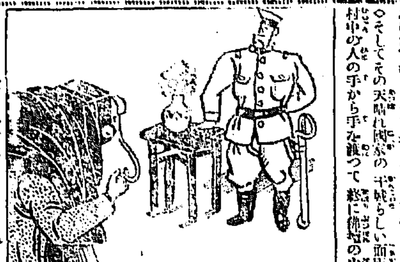
〇日は[illegible]町[illegible]樓抱妓[illegible]消吉……に迷ひ遊興費に困る處から遂に惡心を起し一月一日半[illegible]鐵道合宿に忍び入り合宿雇人由[illegible]しつゝ所有のラシヤマント價格十一圓五十錢を竊取し十六日夜又々合宿に忍び入り鐵道員石非諸三郎所有のマント價格十三圓餘を竊取し其他數回同所に於て窃盜を働き得たる金にて相變らず遊蕩し居たるを[illegible]署の吉田刑事に取押へられ取調の上一月三十一日平壤地方法院檢事局へ送られたり

〇日曜日には隨意外出が許される。けれども朝[illegible]の日曜[illegible]……今のところ此の……

兵營生活叱[illegible]

◇日曜日に鬱を散ずべ事
◇營内、御御堂に納まる事

[illegible]日曜には[illegible]に出て居る人達は[illegible]静岡、近く[illegible]京城龍山に親戚知己[illegible]の人が多いから、[illegible]して居る人は少い。
◇勿論久し振りに自由の身になつて半日[illegible]を[illegible]して居る人は數へる程[illegible]大抵は南大門を這入つて本町の[illegible]路を[illegible]しかれる。
◇で其れだから自然外出もせずに、舍の[illegible]に肥滿するし、[illegible]もアンパン[illegible]になる……



◇そして[illegible]な日曜が過ぎてしまう。
◇そして子供の樣に遊び疲れて他愛もなく寢入つたかと思ふと、喇叭の聲が耳にハッと眼がさめてあゝ夢だつたかと胸を撫で居る間に又直ぐと前後も知らず夢に包まれてしまう。
◇一夜を[illegible]て翌日のそこには想ひ出してもゾツとする程澤山の號令が待つて居る。
◇元氣な顏や勇敢な姿は幾何手紙を書いても書き盡せない。新しい軍帽や成しい洋刀を見せ度いにも海山遠く距てゝ居ては見せる事も出來ない。
◇こんなに立派になつたかとお母樣が嬉で泣く事だらう。お爺も村中を布れ廻つて喜んで呉れるだらう。もう少し近かつたならと、こんな思ひが[illegible]になつて郷里に飛んで行く。
◇そしてその天晴れ國家の干城らしい面影が、村中の人の手から手を渡つて終に佛壇の中に飾られ、朝な夕なに父母兄姉に依つて[illegible]が祈られる。終に臨んで恐縮ながら[illegible]（完）

▲仁川公立商業學校では昨年末校庭に[illegible]を設けたので生徒は毎日喜んで之れ[illegible]▲つひ先達大阪商船の[illegible]が之れに下りた[illegible]武田仁川支店長の令嬢が誤つて足首を[illegible]につき込み際を折つたので父兄間には某敎師が故意につき落したに[illegible]ちたからだと言ふ[illegible]る者もあるが▲學校では此の絶對に非認して生徒に對して上締いて居らない[illegible]居る位だから敎師がせんな[illegible]ることか▲然し學校に在つて[illegible]傷させた事は父兄に對して[illegible]無いと言つて居た▲又三三日前の[illegible]掉諸の際生徒は敎師の注意あるにも拘らず二回も大聲立てゝ笑つたので其敎師が[illegible]に呼んで[illegible]懇々其不心得を諭しても其生徒は默つたまゝうつむいて居た爲め敎師は手で頭をグイと上げさせると生徒は急に泣き出して▲家に歸つてから父兄に先生が毆つたなど、告げたので父兄は我子の不心得はそつち除けで其敎師が暴行したのは怪しからぬと憤慨して居る相だが▲學校は兒童の薰陶上暴行を稱す樣な事は絶對にないと非常に迷惑を感じてゐる相な▲こんな問題で父兄と學校とで妙な感情を持つたら一番に困るのは中に立つた兒童だお互によく考へたらよかろう

謹近火御見舞

京城本町三丁目三十八番地　土木建築請負　黑宮精逸

東京京橋新肴町一　振替東京二六一二七　東京法律事務所　特許課　電話京橋（長）三〇四八番・一五四一・二五〇番　特許意匠實用新案商標登錄代理　鑑定無料　特許辯理士辯護士吉田三市郎　特許辯理士辯護士田坂貞雄　特許辯理士工學士中川五郎吉　特許辯理士辯護士阿保淺次郎　特許辯理士辯護士佐々木藤市郎　特許要錄進呈

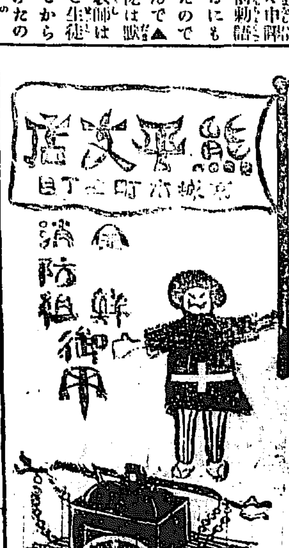
都山流　尺八音譜　新刊音譜解説 三十錢(送)　梅の月 二十錢　紅葉づくし・露蝶ゆかり・八重がすみ 各二十錢　尺八俗曲集上中各二十錢(送)　大阪前川町三丁目　前川合名會社

營業品目　肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料　石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町　朝鮮肥料製造所　電話二六三五番
京城岡崎町一四番地　朝日石鹼製造所　電話二五六四番・九七三番　振替口座京城二〇四番

空中征服號　日本一の雜誌　三界征服……福本日南　大母強妻主義……志賀重昂　意外錄(悉く金玉)……和田垣博士　日獨の飛行戰……長岡中將　歐洲戰中の大空中戰・世界女流飛行家物語・ツエッペリン來る……國分山邦博章・丸山[illegible]・橋本弘　スバドン式機の飛行活躍……阪谷男爵　幼弱な我る飛行界……日野中佐　日本一の讀者諸君へ・ナイルス、スミス[illegible]・東西飛行家人物月旦……櫻岳枝元[illegible]郎史　鳥人アート・スミス自傳……スチンソン　在佛の日本宙返り飛行家……加藤智惠子・知覺健彥　ミスチンソンの飛行經歷……[illegible]　呪ひの飛行船……倉富砂邱　史譚大阪陣……福本日南　野崎村艶話(久松お染)……猫遊軒伯知　小唄供養……小杉天外　定價拾五錢郵稅貳錢　東京・牛込・中央新聞社[illegible]

小兒科專門　中谷醫院　京城大和町三丁目ばんざい門下　電話一〇三三番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業ヲ確實親切ニ取扱申候　京城　朝鮮銀行　支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸　出張所　右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候　電話（國三三一・三三二・三三三・一一〇六・一二六〇・一六一三・一二六一）　振替貯金口座京城三三三番



怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

七十一　操の一念『十四』の三

誰しも覺のある事であるが、疲勞困憊の極に達して了ふと、自分だけは、何處までも判然した了簡で居つても、知らず／＼の裡に、精神の活動力が鈍つて、身體の機關が自然に平均を失つて來るので、苦るしいも悲いもなく、ついうと／＼と夢心地に誘ひ込まれて了ふものである。長い旅路の後に、どんな騷々しいがたく／＼と揺る俥の中でも、前後正體もなく眠り轉けて了ふなども、即ちそれなのである。絹代は、女將の親切ごかしに言ふ諄々しい說得の語を聽いて居る間に、丁度麻睡藥でも嗅がされた患者のやうに、次第…次第に氣が遠くなつて來た。そして、自分の身は、今死ぬか生るかの瀬戸際に坐つて居る事を承知して居ながら、動もすると、顋を低く垂れたなりで、細い幽かな鼾を漏らすのであつた。眼敏き女將は、早くもそれと察した。

『まあ、此のお娘は、妾にばかりお喋舌さしといて、坐睡りを始めたんですね』

絹代は、ハッと氣付いて顔を擡げた。突き付けるやうに言はれたので、

『あら、お內儀さん、左樣では御座いませんけれども……妾、身體が、もう綿のやうになつとりますから……情願お許し遊ばして下さい』

『いゝえ、許すも許さねもありませんが、それぢやね、絹代さん、斯うなさいまし、今にも松崎さんが入つしやつたら、妾が起して上げますから、それまでの所を大船に乘つた氣で、緩りとお寢みになつたが好いでせう。人間何が苦しいと云つたつて本統に睡眠の不足ほど苦しいものはありや爲ませんからね、本統にね、おほゝほ』

女將は、何か方寸のある事と見えて、押入から夜の具一通りを持ち出して來て、無理に絹代を橫にならせたのである。

どうせ、最後のどん詰りは、死の外に途なしと決心して居る絹代は、今までの絹代よりも、多少虫が據つて來たのでもあらうし、又此の家の狀況に目馴れて來た關係もあるのであらうが、何よりも彼よりも、差當りの苦痛は、口も利き得られぬほどの疲勞と衰弱とであつた。女將に寢かされるとその儘、所謂無我夢中で眠りの谷へ轉げて了つたのである。

『察して見りや、可愛さうなもんだが、今時の娘つ子にもこんな解りの遲いのがあるかと思ふと、不思議でならない。尤も、松崎さんも先刻然う言つておいでだつたが、顔や姿の問題ぢやない、彼アだ云ふ手堅い剛情な女を陷落させて見る處に、男の好奇心とやらがあるんだつて………そりや、言つて見りや然うかも知れないが、松崎さんも本統に好い加減な惡戲だわね』

死んだやうになつて眠つて居る絹代の橫顔を覗いて、女將は、獨り勝手な熱を吹きながら、梯子段を降りたが、此の時はもう日が暮れてから一時間餘りも過ぎて居たのである。

然し、日暮までには、引返して來ると言つた松崎の姿は、まだ容易に見えさうになかつた。

一體、此の虎が窟には、女將の外に只つた一人の山出然たる女中が居るばかりで、表面は至極堅氣の寡婦暮しのしもた屋の如く見せかけて居るのが、その特色であつた。だから、客のない場合には、家の構造が廣くて可なり綺麗な割合には、到つて森閑たるものであつた。夜は、倚更の事であつた。只附近の新聞社の輪轉機の音が、耳近く響く位が落ちであつた。

『女將、在宅かね？』

がらりと格子戶を開けて、入つて來た男があつた。長火鉢の前で、その聲を聞き付けたお吉は、若しや松崎が歸つたのではと、飛いたやうに迎つて來ながら

『まあ、誰かと思つたら、棟梁なんですか。五六日來影も見せなかつたんだもの。まあ、お入りなさいよ』と、男は、

『入つても差支はねえかね』と、突掛の麻裏を脫いで、內へ上るや否、突如と長火鉢の前へ御輿を卸した。

『實はね、此の數日になつてから飛んでもねえ折れ口に出會したんでね。何にしろ女將の前だけれども、楢楠の雛がミリ／＼の生血がほた／＼の一件だから、お拙り拳があれや爲ねえと云ふもんだアな』

『棟梁、お前さんはまあ、何を言つてるんだね、來るなり早く折れ口の話も好いけれども、女ばかりの家へ來て、そんな薄氣味のわるい事言ふもんぢやないやね。その折れ口とは一體、お華主なんですかね？』

『なあに、お華主でも親戚でもねえんだが……ちいーッと或事の關係筋さ』と、棟梁先生、故意と語を淀ませかけたが、

『本音を吐くとね、五番町の豬婆アのれこなんだから、驚き入つた仕末さ』

◉一分に一弗宛　ロックフエラーの財産

米國ロックフエラーの財産を計算した物好きがある、基督が降誕してから每日一分間に一弗宛千九百十六年間貯めた處で到底も其の足許にも寄り附けない位だと云ふ、ロックフエラーの今日の財產は一億や二億處でなく一兆弗以上だとの事だから、だから彼が基督と一緒に生れて千九百十六年間一分每に一弗宛休みなしに儲け一寸も使はなかつたと勘定して見ても到々是丈けに達するものでなく彼自身もさう想像も出來まい、又此の千九百十六年間は一年三百六十五日の平年は千五百三十七年あつた、一日二千四百時間が千四百四十分だとすると此の千五百三十七年間に八億七百八十四萬二千二百分ある譯である、又閏年は四百七十九年あつたので其の分數は二億五千二百四十三萬二千百六十分合計基督降誕以來十億六千二十九萬九千三百六十分は經つた筈である、一分間は一弗宛儲けたとするとも是れ丈け弗になる譯だが其れでも未だ到底彼の財產に追附かぬ事が分る

□層碧山房より　浮碧樓

□父の死に對す
明けの水仙ハタと氷りぬ
備前忠光寒さうち誇り
遺きぬみ膽の寒き灯よいつ
扱き在す面影に羽織なれ
曉冷たく雪の湯羽二重の贈り

□母に對す
正月來れば拈られし昨日けふを
冬日押し來生き居る悲しみの極み

□罪送前後
疑を斷つ墨の魂寒う腐ふべし
ほとけのお茶ふ酌むそは布子の涙
枕もとの火桶にたゞ在せ

□□の前
幼なき將て四方枯野なる
短日の掛外して涙し
亡き跡にかづきかへる人の論差く
妙心寺の僧たちの徒歩なる師走
剛餅めて通夜に立つ僧ル正きる
最後の一日となる僧々正冬來き
障子の冬日反りぬ昇かるゝ
抱旗ながれては大地の寒照り
霜の墓掘男の掌の銀

□妙心寺成道會
成道會講座ほの／＼明くる
成道會果つ朝粥熱し

□袋中新年に瀞遇す
佛に捌つく家內の湯豆腐なり

□京正月
七草正月室ろの梅離覗かず
玉水仙買し三十五日忌
雉鳴く來る一日一日を重ね

□移居雜詠
雪も晴れましたお別れつらし
荷車の上の犬ころの粉雪
仲買店より雪掻きそめぬ
朝夕の溫突に焦げけん

□瑞巖先生に對す
兄弟ことにお世話になり冬かけて
ふくら雀となりて椽に在す

□湖北に寄す
繪具の氷ることを案じてやりぬ

□鳥堂に寄す
酒斷ちて瓦いぢりが寒からめ

□坡柳に寄す
近作を見せう茶の花小さく

新刊紹介

▲新演藝（二月號）相變らず綺麗な編輯ぶり玄文社が歌舞伎座上演のために募集したる新脚本出陣に關する諸家の合評日本演藝の前途『坪內博士に與ふ』讀むべく寫眞の鮮明なるは例によつて氣持ちよし（三十八錢東京芝公園地玄文社）

▲黑潮（二月號）議員の品質を改造せよ『征論』其金還元と現內閣の責任『若槻禮次郎』不受不施主義『鵜澤博士』其他の論說を初め秀吉は庵かに御落胤『青柳有美』近代劇衰亡論『菊地寬』等見るべく米窪太刀雄のハリース船長金田志津子の爛れた女及森鷗外辰野正男徳田秋聲久米正雄等の小說も亦面白し（三十錢東京市麴町區內幸町一ノ五太陽通信社）

◉紳士名鑑出版延期　朝鮮公論社より發行の『在朝鮮內地人紳士名鑑』は全道の紳士數千名を網羅し頗る浩瀚のものにして材料調査に非常の苦心と手數とを要するより當局の許可を受け四月一日に出版する事に延期せりと

◉痔疾注射治療　京城黃金町三丁目本田醫院長は上京の上東洋肛門病院に於て痔疾特種注射根治療法研究中の處此程歸院し汎く該患者に施術しつゝあるが院長は此注射に依り些の危險なく全治を速にして疼痛を感せず患部は剝脫して其痕跡をも止めざる樣治療し根治を請負と稱し居れり

商況　仁川

▲下げ歩り平
▲今大に賣る
▲妥能く買ふ
▲邑の大商內
▲其他の商內
▲現物界

廣告

本場名仙　一反只の二圓九十五錢

數年間吳服類の御得意先を有し手堅に營業なしつゝある東京市日本橋區本石町一丁目吳服問屋（福谷商店）が冬物見切品の中東京流行節糸織一反タッタ三圓九十五錢新柄奇抜本場名仙一反タッタ二圓九十五錢に投げ飛ばし同業者を驚かせたるさへあるに大見切品出しの記念として優美高尚なる西京西陣製の珍柄新博多織片側女帶地を前記ドレデモ一反の注文每に一筋づゝの無代進呈をなすと云ふ破天荒の大英斷は流石に同店一流の飛び放れたる肚藝にて到底他店の模倣の出來ぬ事共也因に地方の希望者はハガキにて男女別年齡を記し申込は納合親切に選び送料も實費で送る由

謝近火御見舞　京城本町四丁目一五二　鈴田隆

京日案內

普通　五十錢一番外一圓（前金）　▲申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

◉藥劑師雇ひ入れたし　京城南大門內正面　救世藥舖　130
◉質なる保證人要す年齡廿二歲以上にして市內に確實なる保證人要す身體強壯　京城永樂町一商品陳列館內　中谷　138
◉古着及洋服御不用品高價買入　賀出も致升　◉京城旭町二ノ七四　淺野商店　136
□見習看護婦至急入用　希望者は來談の事　旭町三丁目　若槻小兒科內科醫院　118
◉古本熱心高價買入　▲御報參上　▲本町四　電話二七八一番　書肆群書堂　128
◉融通　月收の御方へ極秘迅速即日　替御報伺又は御來談　京城大和町三の三二（拓澤前）起木屋　126

番外　生兒（女兒）やりたし　生後二十日間發育頗る良好よろし　急に貰ひ人をさがす委細面談（姓名在社）　135

男女外務員　採用希望者來談あれ　京城黃金町二丁目二九但太平通　大日本信託合資會社　京城出張所　134

恩給年金　低利長期即時立替　短期無保險　京城南大門外御成町　京義線沙里院　西鮮支店　山口屋　廣川商店　137

易　岡村介石堂　京城明治町二丁目　フランス教會降　132

◉店員入用　十五歲以上十八歲迄　希望者來談あれ　本町一丁目　大阪屋號書店　123

恩給　年金低利四年半迄　金鑵兩替　即時立替利子前引なし　極秘併商品陳列館表門前下角　▲京城永樂町一丁目　江州屋本店　105

恩給年金立替　利子年一割　即時取引退隱料一切千圓以上別契約　京城櫻井町元祖　博多屋本店（大正館向）　124

クーレムレート

—— しておて手輕に美顔術の出來る ——

極寒月にも肌荒知らさぬ理想美膚料

二月は一年中の極寒月でムいまして此れ迄肌荒などは知らないと被仰る方も此月の寒さには兎角にざら／＼と肌理が荒れて參ります、然し日頃クーレムレートを御愛用のお方に限つて其樣心配は少しもなく、すつぱりレート洗粉で汚垢を落したお肌へ此のクレームを糀けて萬遍なく＊

＊擦込樣になさいますとお顔の生地は艶やかに滑べ／＼と豐くよかな若々しさを帶び本當に生々した美しい素顔になられます

素化粧料の大歡迎と本品の需要激增

素顔の美しさが偷ばれる傾向につれて理想的な素化粧料としてクーレムレートの持囃されることは本舖の製造方が間に合はぬ位だといふ一事でも知れます

紳士も貴婦人も令孃も學生も手離せぬ[illegible]的美膚料はクーレムレート

—— 本邦唯一の素化粧料クーレムレートの現品

最新刊

◉支那大觀　福田眉仙　特二、〇〇
◉大正六年日本紳士錄　交詢社藏版　五、〇〇
◉最新內外植物誌　牧野富太郎　佐藤　共著　特七、〇〇
◉詳解漢和大字典　服部宇之吉　小柳司氣太　共著　特上三、五〇
◉大正六年國民年鑑　國民新聞社編　五〇
◉世界の岸　井口賢三　三、〇〇
◉明暗　夏目漱石遺著　二、五〇
◉現行草書法詳解　稻川雲齋　二、〇〇
◉新滿蒙教授實際案　九〇
◉家庭百科叢書　十名醫學博士著　一、五〇
◉嗚翁漫言　富田寅編　一、三〇
◉現代名家通俗講演集　通俗教育會　一、三〇
◉和漢古今禪門佳話　禪林　一、〇〇
◉十八の娘　尾崎紅葉　九五
◉朝鮮總督府受驗必讀法律問答　坂上廣吉　四〇
◉同法律講義　同　特七五
◉同會話譯文速成　安達大壽計　四〇
◉同朝鮮行政法大意　正緖編　同各四〇
◉同作文軌範　增補三版　同　四〇

大阪屋號書店　京城本町一　電話六四・六六番　振替京城二五七三番

りん病　ばい毒　請合藥
京城南大門外停車場通り　ドラッグ商會滿鮮本部
詳細ハ昨日ノ本紙ヲ御覽・にせ物アリ御注意・

大邱浦項間自動車時間

上り　浦項發・安康・慶州・永川・河陽・大邱着　一番　二番
下り　大邱發・河陽・永川・慶州・安康・浦項着　一番　二番
[illegible]

大塚農場自動車所　大邱出張部　電話一一七番

金泉醴泉間自動車發著時間

上り　金泉發・開寧・咸昌・尙州・醴泉著　一番　二番
下り　醴泉發・咸昌・開寧・尙州・金泉著　一番　二番
[illegible]
▲小荷物運搬仕り候
金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

日本郵船　仁川出帆

大連行、秦皇島行
三河丸　二月十日正午出帆
相模丸　二月十九日正午出帆
筑後丸　月　日正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話[illegible]　回漕部

尼崎汽船　仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大有丸　二月八日後四時出帆
○秀吉丸　二月十三日後四時出帆
○君か代丸　二月十八日後四時出帆
○土海丸（御斷り）　二月　日後四時出帆
仁川海岸通三丁目　杉回漕部　電話五十九番

共同汽船　仁川出帆

○芝罘、大連行　第共同丸　二月九日午後入港
共同丸　二月十一日正午出帆
關東都督府命令航路
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱仕候
大連にては旅行定期船に接續し荷客共直航船と同樣
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會　春日町（電話二四四七番）
元山代理店　田口回漕部　南大門（電話二六八〇七）
京城取次店　河村運送店

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行　○和歌浦丸　二月十九日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行　○小倉丸　二月八日後五時出帆
○和歌浦丸　二月七日後十時出帆
○小倉丸　二月十八日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三平丸　二月十五日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三平丸　二月　六日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　○天眞丸　每月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

大阪商船　仁川出帆

○外航路所屬航路遠洋航路を除く
○群山、神戶、大阪行　濟州丸　二月　日後五時出帆
×山陽丸　群山、木浦、釜山、馬山、神戶、大阪行　二月廿二日正午出帆
×大智丸　二月十二日後五時出帆
○油頭丸　二月十五日後五時出帆
○安東丸　神戶、大阪行　二月　日後五時出帆
○木浦、釜山、麗原、鬼の浦、長崎行
×信濃川丸　二月二十日正午出帆
×安東丸　三月九日正午出帆
○群山、釜山、鎮海行
×南丸　二月六日後二時出帆
×臺東丸　二月十二日後二時出帆
○大連直行　大連丸　二月十六日正午出帆
×信濃川丸　三月五日正午出帆
×安東丸
○大連直行
×南丸　二月　日正午出帆
×臺東丸　二月　日正午出帆
○濟南、芝罘、天津行（元山出帆）
▲印刷城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港
▲安平丸　二月廿三日後十二時出帆
▲宮島丸　二月　九日後十二時出帆
×大信丸　二月　四日正午十二時出
×山陽丸　二月　八日正午十二時出
○上海、北陸、打狗行（大連出帆）
湖北丸　二月　八日前六時出帆
基隆丸　二月廿四日後四時出帆
御注意　◉乘車鐵道及び市內電車と船の連絡切符發賣仕候◉當社乘船客は本船の一時間前無賃送迎可致候◉×印は一出一等航
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二〇番　二五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番

朝鮮郵船　出帆

本社　電話長一九五二番　二三三番
京城南大門驛前　松原運送店（電話長一七〇番）
は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會相成度候
◉全羅丸・京畿丸・黃海丸・成鏡丸　二月六日・十八日・廿九日　釜山發
◉稻城丸・平昌丸・鏡城丸　二月　日　元山發
○昌平丸　二月　日　元山發
○鏡丸　二月五日　釜山發
○江原丸・慶陽丸　毎日　浦項發
○三浦丸　二月　日　釜山發
○統營丸・海州丸・巨濟丸・慶尙丸　毎日　釜山發
○平安丸　二月　日　九山發
○順天丸　二月　日　木浦發
○慶興丸　二月七日　木浦發
○慶州丸　二月　日　木浦發
○公州丸　二月　日　仁川發
○江原丸　二月八日　仁川發
○晉州丸・麗水丸　二月十七日　仁川發
○全州丸・錦江丸　毎日午前　仁川發